

年 報

— 令和 7 年度 —



No. 15

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

目 次

I	沿革	1
II	施設概要	
1.	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）	2
III	教育普及等	
1.	常設展示	3
2.	企画展示	4
3.	教育普及の実績	12
4.	是川縄文の日	20
5.	八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）	21
6.	地域連携	21
7.	調査研究	23
8.	広報・情報発信	24
9.	ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」	26
IV	埋蔵文化財調査等	
1.	発掘調査事業概要	27
2.	調査概要	31
3.	主な調査成果	32
4.	発掘調査報告書	35
5.	情報公開	35
6.	是川遺跡出土品ほか美術工芸品保存修理事業	36
7.	埋蔵文化財保存活用事業	37
8.	重要文化財是川遺跡出土品保存修理・活用報告書	37
V	史跡整備	
1.	史跡是川石器時代遺跡第1期整備事業	38
2.	史跡維持管理	39
3.	世界遺産に関する取組	40
4.	一王寺遺跡内容確認調査	41
VI	管理運営概要	
1.	協議会等	42
2.	日記抄	43
3.	来館者利用状況	48
4.	小中学校利用状況	49
5.	資料利用状況	50
6.	資料収蔵	54
7.	予算概要	55
8.	施設の維持管理	55
VII	組織・関係団体	
1.	組織及び職員構成	56
2.	八戸縄文保存協会	56
3.	縄文是川ボランティア	57
	利用案内	58

I 沿革

是川縄文館は、市内の遺跡から出土した埋蔵文化財の積極的な公開・活用、適切な保存管理に努め、埋蔵文化財保護の重要性を伝えるため、埋蔵文化財センターとして平成 23 年（2011）に開館した。是川遺跡、風張 1 遺跡等の発掘成果をふまえた展示や体験交流等を通して、市民や来館者が地域文化の魅力を再発見し、誇りや愛着が感じられる郷土づくりに資することを基本理念としている。

- 昭和 32 年（1957） 「是川石器時代遺跡」国史跡指定。
- 昭和 36 年（1961） 泉山岩次郎氏、斐次郎氏兄弟から出土品の寄贈を受ける。
- 昭和 37 年（1962） 寄贈品のうち、中居遺跡出土品 633 点が重要文化財に指定。
- 昭和 38 年（1963） 「考古館」完成（9 月 30 日）。
- 昭和 49 年（1974） 「歴史民俗資料館」完成（3 月 30 日）。
- 昭和 50 年（1975） 「歴史民俗資料館」開館（5 月 10 日）。
- 平成 5 年（1993） 3 月 「縄文学習館」基本設計完成。 4 月 縄文学習館展示指導員会議実施。
5 月 建築予定地発掘調査実施（8 月終了）・地質調査完了。
6 月 映像展示ソフト製作委託実施。 7 月 建築実施設計完成。
8 月 展示実施設計完成。
- 平成 6 年（1994） 3 月 建築・設備・展示各工事完成。 6 月「縄文学習館」開館（6 月 24 日、八戸市博物館分館）。
- 平成 7 年（1995） 是川遺跡文化学習ゾーンオープン（2 月 22 日）。
- 平成 9 年（1997） 「是川縄文の里整備基本構想」を策定。
- 平成 15 年（2003） 「是川縄文の里整備検討委員会」を設置し、基本構想見直し。
- 平成 16 年（2004） 「是川縄文の里整備検討委員会」が（仮称）是川縄文博物館の建設に向けて建設計画等を検討。
史跡追加指定（史跡総面積 213,372.52㎡、遺跡全体の 56.74%）。
- 平成 17 年（2005） （仮称）是川縄文博物館の建設用地取得。
- 平成 18 年（2006） 施設の機能にあわせ（仮称）是川縄文館と改める。
プロポーザル方式で設計業者を選定し、基本設計を実施。
実施設計を実施。
- 平成 19 年（2007） 造成工事を実施し、建設工事に着手。
- 平成 20 年（2008） 建設工事及び展示設備Ⅰ期工事を実施。
- 平成 21 年（2009） 展示設備Ⅱ期工事及び外構・駐車場工事を実施。
- 平成 22 年（2010） 4 月 機構改革により縄文学習館が「八戸市博物館分館」から「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館分館」に所管替え。
5 月 「考古館」・「歴史民俗資料館」閉館、「縄文学習館」一時休館、縄文学習館展示等改修業務委託実施。
6 月 縄文学習館展示等改修業務委託完成。
中居遺跡出土品 330 点が重要文化財に追加指定（総数 963 点）。
- 平成 23 年（2011） 7 月 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館開館（7 月 10 日）。
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例及び施行規則、組織等規則施行。
開館記念企画展「八戸の埋蔵文化財」開催（7 月 10 日～9 月 25 日）。
開館記念講演会「是川遺跡の現在と未来」開催（7 月 17 日）。
8 月 来館者 1 万人達成。※本館観覧者数
10 月 開館記念特別展「縄文至宝展」開催（10 月 15 日～11 月 13 日）。
- 平成 24 年（2012） 7 月 開館 1 周年行事開催（7 月 7 日～7 月 24 日）。 来館者 5 万人達成。※本館入館者総数
- 平成 25 年（2013） 10 月 史跡追加指定（史跡総面積 213,497㎡、遺跡全体の 56.78%）。
- 平成 26 年（2014） 6 月 来館者 10 万人達成。※本館入館者総数
- 平成 28 年（2016） 5 月 来館者 15 万人達成。※本館入館者総数
7 月 開館 5 周年行事開催（7 月 9 日～7 月 10 日）。
10 月 史跡追加指定（史跡総面積 219,009㎡、遺跡全体の 58.24%）。
- 平成 30 年（2018） 1 月 来館者 20 万人達成。※本館入館者総数
- 令和 元 年（2019） 3 月 「史跡は川石器時代遺跡第 1 期整備基本計画」を策定。
10 月 来館者 25 万人達成。※本館入館者総数
- 令和 2 年（2020） 是川遺跡発掘 100 周年及び記念イベント開催。
7 月 整備工事のため「縄文学習館」休館。
11 月 「是川縄文の日」、「是川縄文普及月間」制定。
- 令和 3 年（2021） 7 月 開館 10 周年行事開催（7 月 10 日～7 月 11 日）。「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録。（7 月 27 日）
- 令和 4 年（2022） 6 月 来館者 30 万人達成。※本館入館者総数
- 令和 5 年（2023） 10 月 来館者 35 万人達成。※本館入館者総数
- 令和 7 年（2025） 3 月 史跡追加指定（史跡総面積 221,469㎡、遺跡全体の 58.9%）。
7 月 来館者 40 万人達成。※本館入館者総数

II 施設概要

1. 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館（本館）

(1) 施設の名称と位置

- 名称：八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館
○住所：青森県八戸市大字是川字横山 1

(2) 施設の概要

- 構造：1 階鉄筋コンクリート造＋2 階鉄骨造
○敷地面積：13,752.55㎡ ○建築面積：2,602.98㎡ ○延床面積：4,593.82㎡
○建築基本・実施設計：(株) 岡設計 ○展示基本・実施設計及び施工：(株) 丹青社

(3) 主要施設・面積 ※床面積 1 階：2,408.19㎡ 2 階：2,185.63㎡

階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)	階	室名	面積 (㎡)
1F	体験交流室	142.8	1F	館長室（応接室）	36.87	2F	図書閲覧コーナー	91.19
	アプローチ展示	229.53		事務室	79.12		研修室	62.12
	特別収蔵庫	139.49		会議室	51.12		調査記録保管室	39.78
	特別収蔵庫前室	22.70		スタッフルーム	46.51		書庫	133.42
	一般収蔵庫	473.06		器材庫	56.25		研究室	151.13
	荷解場	104.62	2F	常設展示室	503.01		出土品整理室	143.47
	保存科学室	55.90		国宝展示室	46.60		図面整理室	87.86
	作業室	54.90		企画展示室	178.37		写真撮影室	41.66
	ミュージアムショップ	78.59		展示準備室	81.94		ベビーコーナー	4.48

○駐車場：普通車 86 台、大型バス 6 台、障がい者用 3 台 ○トイレ：2 か所（障がい者用含む、職員用除く）

(4) 建設事業費 ※総事業費：2,242,439 千円

- 基本・実施設計：87,740 千円 ○外構工事等：189,120 千円 ○本棟工事等：1,628,434 千円
○器材庫建築工事等：50,012 千円 ○展示工事：287,133 千円



八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

III 教育普及等

1. 常設展示

常設展示は、直感的な手法で是川遺跡を印象付け（右脳）、論理的な手法で詳しい解説を行う（左脳）、対比的なコンセプトとしており、「縄文の美と謎を探る」ことをテーマとしている。

導入部のイマージョン・シアターは、来館者に是川遺跡の特徴を印象付け、体験できるシアター空間。漆塗り遺物の赤と黒や縄文文様をテーマとする神秘的な「縄文への道」に続き、豊かな自然の中で植物を多様に利用したくらしを紹介する「縄文くらしシアター」で構成される。続く「縄文の美」は、「漆の美」「是川の美」「風張の美」の3コーナーからなり、縄文人が作り出した造形美をじっくりと鑑賞できる空間とした。

左脳ゾーンとなる「縄文の謎」では、是川中居遺跡の発掘現場から、調査研究成果として「環境」「くらし」「わざ」「漆文化の広がり」という4つのテーマから紹介している。

続く「最新研究報告」は、埋蔵文化財センターの調査・研究成果を更新しながら展示する常新展示を目指している。令和7年2月からは第9回「長七谷地貝塚」を公開している。

合掌土偶は「国宝展示室」の免震・密閉式展示ケースにて展示している。

1階アトリウムはガイダンス展示となっており、八戸市の遺跡や、全国の縄文遺跡について調べることができる体験型の端末「はちのへ遺跡ログ」・「是川羅針盤」を設置している。

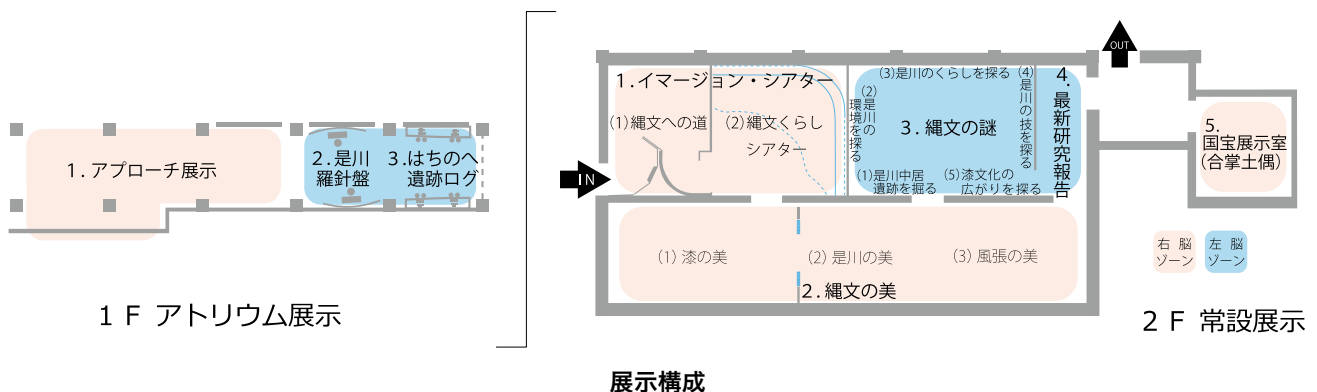
展示室	展示品	重要文化財	指定外	レプリカ	復元品	民俗資料
漆の美	38	38	-	-	-	-
是川の美	200	153	47	-	-	-
風張の美	201	201	-	-	-	-
縄文の謎	67	36	1	-	23	7
最新研究報告	38	-	38	-	-	-
国宝展示室	1	※国宝 1	-	-	-	-
計	545	429	86	-	23	7

常設展示品（令和7年度）

※考古資料のうち国指定重要文化財が占める割合は約8割



縄文の美



2. 企画展示

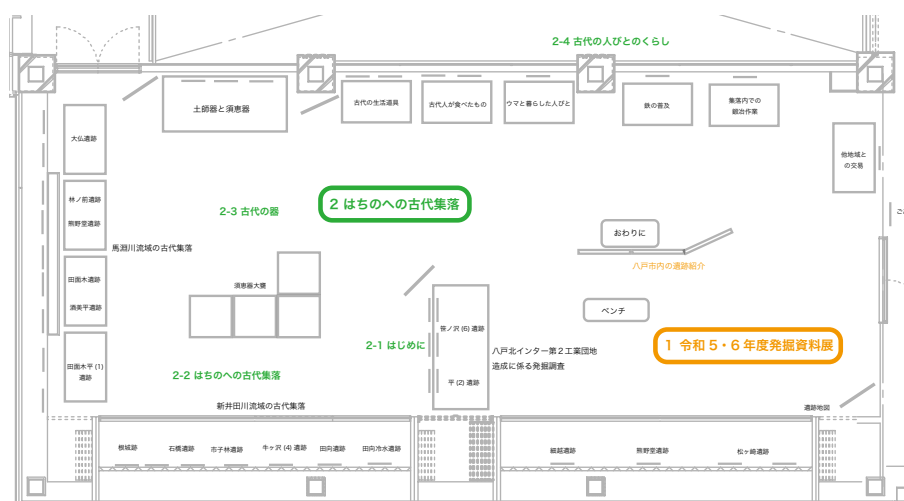
令和 7 年度は、春季企画展「掘り day はちのへー令和 5・6 年度発掘資料展」、特別展「貝へのあこがれ」、秋季企画展「その土器は三角形▼ 尖底土器の世界」、冬季企画展「縄文・かたちの美ー是川遺跡のミニチュア製品ー」を開催した。

(1) 春季企画展「掘り day はちのへー令和 5・6 年度発掘資料展」

開催期間	令和 7 年 4 月 26 日（土）～ 6 月 22 日（日） 51 日間
観覧者数	4,708 人（92 人／日）
展示資料数	180 点
印刷物	ポスター（B2 版）500 枚 リーフレット（A4 版）35,000 枚 解説リーフレット（A3 版）5,000 枚 招待券 2,000 枚
主な展示品	縄文土器深鉢・縄文土器鉢・縄文土器壺・ミニチュア土器・土偶・石槍・石皿・有孔石製品（松ヶ崎遺跡）、続縄文土器壺・続縄文土器深鉢（市子林遺跡）、土師器坏（牛ヶ沢(4)遺跡・石橋遺跡・田面木平(1)遺跡・酒美平遺跡・田面木遺跡）、土師器甕（笹ノ沢(6)遺跡・田面木平(1)遺跡土・石橋遺跡）、須恵器壺（牛ヶ沢(4)遺跡・石橋遺跡）、須恵器甕（石橋遺跡・殿見遺跡・岩ノ沢平遺跡）、須恵器甕・搔器・石製模造品（田向冷水遺跡）、炭化麻布・炭化木製碗・炭化したコメ・貝・鉄鏃・鎌・刀子（石橋遺跡）、鋤/鋤先・とりべ（牛ヶ沢(4)遺跡）、金銅製壺鎧（田向遺跡）、耳環・切子玉（田面木平(1)遺跡）、ウマ頭蓋骨・緑釉陶器皿（熊野堂遺跡）、灰釉陶器壺（八幡遺跡）ほか
併催行事	特別展ギャラリートーク 6/26、5/3、5/24 午後 2 時～ 6/14 午前 10 時～ 屋内での擬似発掘体験 5/5 午前 9 時～午後 4 時 バックヤードツアー 5/17 午前 10 時～ 午後 2 時～
協力	八戸市博物館

最新の発掘調査成果をはじめ、発掘資料から八戸の歴史や文化を紹介することを目的とした企画展。市内に 491 箇所ある遺跡の紹介や、発掘調査について解説し、令和 5・6 年度に発掘調査を実施した遺跡とその出土遺物を紹介した。

特集展示「はちのへの古代集落」は、3 世紀中頃にはじまった古墳時代から 12 世紀後半の平安時代の終わり頃の「古代」にスポットを当てた。八戸市内に数多く残る古代の集落遺跡を紹介するとともに、出土した遺物から、古代の人びとの食べ物や道具について身近に感じていただく内容とした。



展示構成



特別展リーフレット



展示状況



土偶（松ヶ崎遺跡）



展示状況（土師器）



展示状況（須恵器大甕）



発掘体験



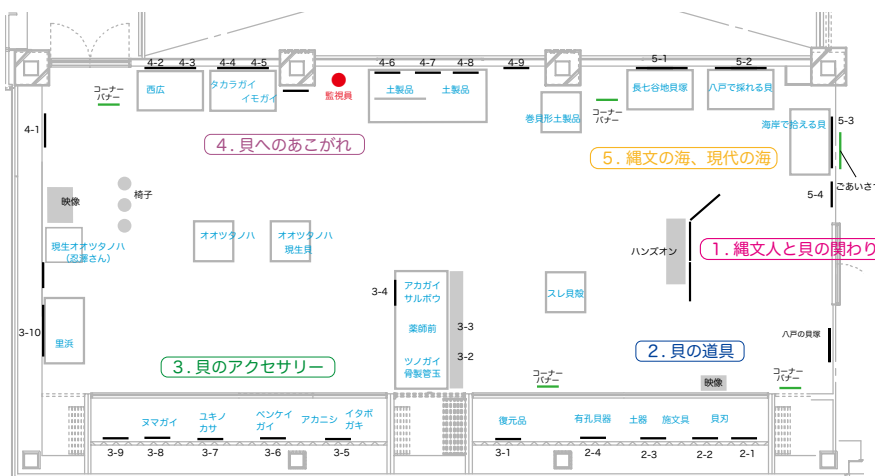
企画展ギャラリートーク

(2) 特別展「貝へのあこがれ」

開催期間	令和7年7月12日(土)～9月7日(日) 57日間
観覧者数	6,406名(112人/1日)
展示資料数	212点
印刷物	ポスター(B2版)500枚 リーフレット(A4版)35,000枚 観覧券 8,000枚 解説リーフレット(A3版)5,000枚 図録(A4版カラー100ページ)1,000部
主な展示品	貝刃(西広貝塚)、深鉢形土器(天神台遺跡)、スレ貝殻(里浜貝塚・重要文化財)、ツノガイ製管玉(田柄貝塚・重要文化財)、貝輪(薬師前遺跡・重要文化財)、燕形銚頭(里浜貝塚・重要文化財)、イモガイ製垂飾(祇園原貝塚)、タカラガイ加工品(西広貝塚・千葉県指定文化財)、オオツタノハ製貝輪(里浜貝塚・重要文化財)、タカラガイ形土製品(安俣6区遺跡)、イモガイ状土製品(中居遺跡)、釧形土製品(長倉I遺跡・岩手県指定文化財)、巻貝形土製品(中神遺跡)、貝類(長七谷地貝塚)、貝類標本(国立科学博物館) ほか
併催行事	特別展ギャラリートーク 会期中土曜日(各1回)午後2時～ 拾ってつくる 貝がらアクセサリー 7/21 午前9時～ 八戸の漁業のいまを知ろう!おさかな学習会 8/5 午前10時～ 種差海岸の貝標本をつくろう 8/30 午前9時30分～ 貝輪博士と貝輪をつくろう 8/31 午前10時～ 特別展考古学講座(→p13) 8/31 午後2時～
特別協力 協力	船の科学館「海の学びミュージアムサポート」 文化庁、青森県教育委員会、市原市教育委員会、東北歴史博物館、 東北大学大学院文学研究科、仙台市教育委員会、五戸町教育委員会、軽米町教育委員会、 花巻市博物館、花巻市総合文化財センター、国立科学博物館、八戸市博物館、 八戸市水産事務所、NPO 法人 ACTY、忍澤成規

貝殻で作られた道具や装身具といった出土品から、貝をめぐる縄文人のものづくりと交流を紹介する展示。特に南海産の希少な貝製品や、貝を模造した土製品から、縄文時代の広域なネットワークや縄文人の貝へのあこがれについて迫った。会場では、貝刃の使用実験や、オオツタノハの捕獲映像を設置し、縄文時代の貝利用を紹介した。会期中は、海岸での貝拾いや貝輪づくり体験、おさかな学習会などのイベントを開催し、身近な海や貝について関心を深める機会となった。

なお、実施にあたり、船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の助成を受けた。



展示構成



特別展リーフレット



展示状況



展示状況（貝輪）



スレ貝殻
(里浜貝塚出土・重要文化財)



拾ってつくる 貝からアクセサリー



特別展ギャラリートーク



貝輪博士と貝輪をつくろう

(3) 企画展「その土器は三角形▼ 尖底土器の世界」

開催期間 令和 7 年 10 月 4 日(土)～11 月 24 日(月・振休) 45 日間

観覧者数 4,615 名(103 人/日)

展示資料数 126 点

印刷物 ポスター (B2 版) 500 枚 リーフレット (A4 版) 35,000 枚

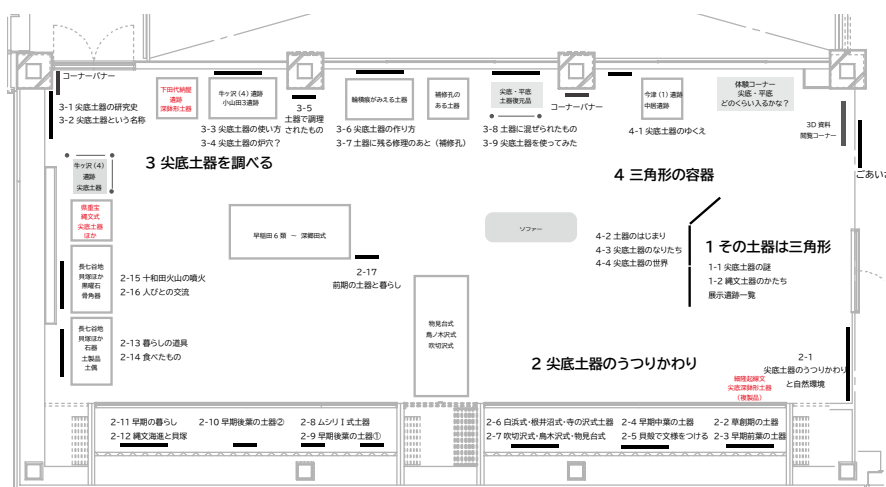
解説リーフレット (A3 版) 5,000 枚 図録 (A4 版カラー 50 ページ) 1,000 部

主な展示品 尖底土器深鉢 (県重宝・南部町野月遺跡)、尖底土器深鉢 (東通村下田代納屋遺跡、六ヶ所村表館 (1) 遺跡・千歳 (13) 遺跡・三沢市根井沼 (1)・(3) 遺跡、小田内沼 (4) 遺跡、八戸市長七谷地貝塚・赤御堂遺跡)、丸底土器深鉢 (長七谷地貝塚・売場遺跡)、平底土器深鉢 (六ヶ所村表館 (1) 遺跡、八戸市新井田古館遺跡)、鬲状三足土器 (外ヶ浜町今津 (1) 遺跡)、土偶 (三沢市根井沼 (1) 遺跡、八戸市泥障作狐森遺跡、赤御堂遺跡)、ミニチュア土器 (八戸市櫛引遺跡)、貝類・魚骨・骨角製品・石器 (八戸市長七谷地貝塚) ほか

併催行事 企画展ギャラリートーク 会期中土曜日 (各 1 回) 午後 2 時～ ※ 11/ 1 は午前 10 時～
親子・小中学生向けギャラリートーク 10/25、11/8・11/15 午前 10 時～
企画展考古学講座 (→ p14) 11/ 1 午後 2 時～
トークイベント「週末縄文人 in 是川縄文館 三角形って実は効率的?!」
11/24 午後 2 時～ (→ p16)

協力 青森県埋蔵文化財調査センター、青森県立郷土館、青森県立名久井農業高等学校、
三沢市教育委員会、六ヶ所村立郷土館、八戸市博物館、南郷歴史民俗資料館

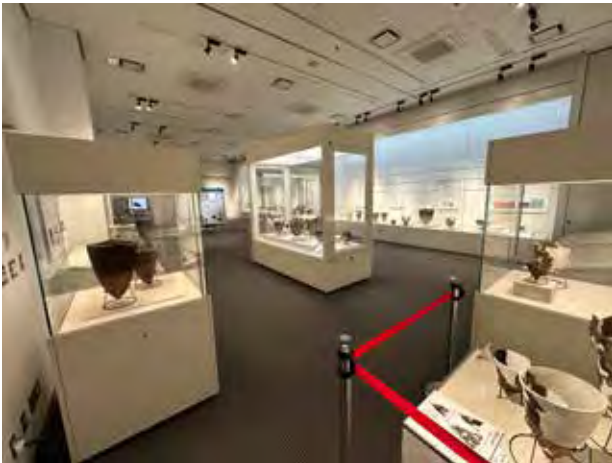
縄文時代早期にたくさん作られた尖底土器を特集した展示。八戸地域の遺跡を中心に、人々の暮らしから尖底土器の成り立ちや展開に迫った。会場では、縄文時代草創期から前期までの尖底土器や縄文時代晩期にみられる尖底状の土器を紹介し、青森県内の尖底土器の優品が一堂に会する初の展示となった。会期中は、人気 YouTuber「週末縄文人」の縄さんと当館学芸員が尖底土器の製作方法や使用方法について意見を交わすトークイベントを実施し、数千年間作られ続けた謎の土器・尖底土器の魅力や八戸市内の遺跡の出土品の重要性についての理解や関心を深める契機とした。



展示構成



企画展リーフレット



展示状況



尖底土器深鉢（下田代納屋遺跡）



展示状況
（どのくらい入るかな？）



尖底壺と鬲状三足土器
（左：是川中居遺跡、右：今津（1）遺跡出土）



企画展ギャラリートーク



トークイベント
週末縄文人 in 是川縄文館 三角形って実は効率的？！

(4) 企画展「縄文・かたちの美ー是川遺跡のミニチュア製品ー」

開催期間 令和8年1月10日(土)～5月6日(水) 101日間
 観覧者数 2,660名(39人/日) ※令和7年3月31日時点(68日間)
 展示資料数 170点
 主な展示品 土器・土製品(一王寺遺跡)、土器・土製品・石器・石製品(中居遺跡)
 併催行事 ミニチュア土器作り
 2/11・22 午前11時～、午後1時30分～ ※2/22は午前のみ

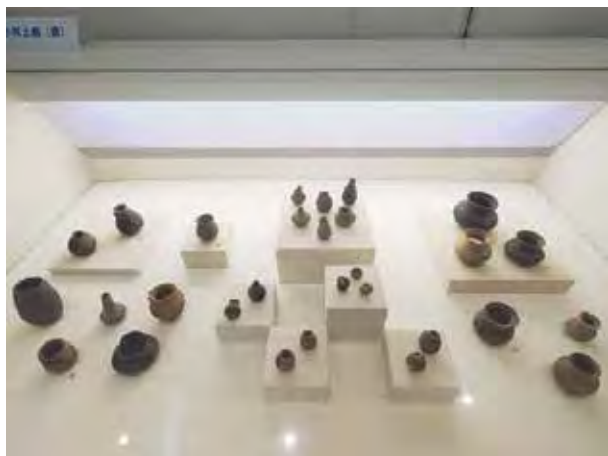
是川発掘100周年を記念してスタートした、出土品を種類別に紹介するシリーズ企画第7回。今回は、是川遺跡で出土した通常の遺物よりも小さなミニチュア製品を展示し、その種類や特徴、考えられる用途等について紹介した。会場の一角には、「これかわ考古学クラブ」参加者による展示コーナーも設けた。これは、各参加者が選んだお気に入りのミニチュア製品について、特徴やみどころ、考える使いみちなどについて自作のキャプションで紹介するもの。また、展示内容に合わせた体験イベント「ミニチュア土器作り」を実施し、展示資料により興味を持ってもらうための機会作りに努めた。



展示構成



冬季企画展ポスター



小形土器(壺)(中居遺跡出土)



ミニチュア土器作り

開催年度	特別展・企画展	名 称	開催期間	日数	入館者数	人 / 日	資料数
平成 23 年	開館記念企画展	八戸の埋蔵文化財	7/10～9/25	77	19,245	275	222
平成 23 年	開館記念特別展	縄文至宝展	10/15～11/13	27	7,509	278	358
平成 24 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 23 年度発掘資料展～	4/28～6/24	53	6,632	125	56
平成 24 年	特別展	発掘された日本列島 2012 新発見考古速報	8/8～9/17	38	7,723	203	600
平成 24 年	秋季企画展	縄文のストーンサークル	10/13～11/25	39	3,037	77	169
平成 25 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 24 年度発掘資料展～	4/27～6/23	52	4,135	79	120
平成 25 年	特別展	みみずく土偶と縄文人－関東の晩期安行文化－	7/20～9/2	41	4,577	111	203
平成 25 年	秋季企画展	縄文時代の津軽半島	10/12～11/24	38	2,884	74	235
平成 26 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 25 年度発掘資料展～	4/26～6/22	52	3,630	69	138
平成 26 年	特別展	トーテムポールの人びと～漁労・狩猟採集民の暮らし～	8/1～9/15	42	5,364	128	115
平成 26 年	秋季企画展	海と火山と縄文人－是川縄文館・東京大学共同研究展示－	10/11～11/24	39	3,168	81	179
平成 27 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 26 年度発掘資料展～	4/26～6/22	51	4,477	88	190
平成 27 年	特別展	漆と縄文人	7/25～9/6	39	5,753	148	162
平成 27 年	秋季企画展	小川原湖周辺の縄文文化	10/10～11/23	39	3,782	97	221
平成 27 年	パネル展	伝える－大正・昭和初期の是川遺跡記録写真－	12/19～3/21	74	2,775	38	24
平成 28 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 27 年度発掘資料展～	4/29～6/26	52	4,532	88	190
平成 28 年	特別展	山の縄文世界－中部高地の縄文時代－	7/23～9/4	39	5,320	136	122
平成 28 年	秋季企画展	馬淵川流域の縄文時代	10/8～11/20	38	3,446	91	172
平成 28 年	パネル展	伝える－大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.2－	12/17～3/20	75	2,336	32	38
平成 29 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 28 年度発掘資料展～	4/29～6/25	52	4,187	80	138
平成 29 年	特別展	発掘された日本列島 2017 新発見考古速報	8/5～9/18	42	7,600	180	497
平成 29 年	地域展	八戸の土偶	8/5～9/18	42	—	—	467
平成 29 年	秋季企画展	是川縄文ムラを観る・描く－人と風と草木のものがたり－	10/14～11/26	38	2,653	69	112
平成 29 年	パネル展	伝える－大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.3－	12/16～3/21	75	1,948	25	43
平成 30 年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 29 年度発掘資料展～	4/28～6/24	53	4,354	82	210
平成 30 年	特別展	海をわたる縄文人～津軽海峡文化圏の縄文～	7/21～9/2	43	5,440	126	215
平成 30 年	秋季企画展	どうぶつと縄文人	10/6～11/25	45	4,009	89	243
平成 30 年	パネル展	伝える－大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.4－	12/15～3/21	75	2,254	30	78
令和元年	春季企画展	掘り day はちのへ～平成 30 年度発掘資料展～	4/27～6/23	52	6,007	116	215
令和元年	特別展	北の縄文世界－北海道・北東北の縄文遺跡群－	7/20～9/8	50	7,055	141	174
令和元年	秋季企画展	山のいとなみ	10/5～11/24	44	3,425	78	158
令和元年	冬季企画展	是川遺跡の壺形土器	12/14～4/17	100	3,114	31	205
令和 2 年	夏季企画展	泉山兄弟と是川遺跡	7/18～9/6	50	3,069	61	210
令和 2 年	秋季企画展	白神山地の縄文	10/10～11/23	39	3,597	92	250
令和 2 年	冬季企画展	是川遺跡の注口土器	12/12～5/5	117	3,354	28	143

過去 15 年間の特別展・企画展一覧 (1)

開催年度	特別展・企画展	名 称	開催期間	日数	入館者数	人 / 日	資料数
令和 3 年	特別展	是川遺跡	7/10～8/31	51	5,910	115	271
令和 3 年	秋季企画展	装い―身を飾る人びと―	10/16～11/28	37	6,212	167	353
令和 3 年	冬季企画展	是川遺跡の鉢形土器	12/11～5/5	83	4,062	48	131
令和 4 年	特別展	行きかう土器とヒト	7/16～9/4	50	5,962	119	196
令和 4 年	秋季企画展	食と縄文人	10/8～11/20	38	4,994	131	337
令和 4 年	冬季企画展	縄文・かたちの美 - 是川遺跡の皿形土器 -	12/10～5/7	120	6,817	56	51
令和 5 年	特別展	北陸の晩期縄文文化	7/15～9/3	50	7,266	145	112
令和 5 年	秋季企画展	掘り day はちのへ - 令和元年～令和 4 年度発掘資料展 -	10/7～11/26	43	5,442	126	155
令和 5 年	冬季企画展	縄文・かたちの美 - 是川遺跡の土製品 -	12/16～5/6	116	6,109	53	95
令和 6 年	特別展	縄文の編み／組みの探究 - 第 4 期共同研究展示 -	7/13～9/8	57	7,860	138	95
令和 6 年	秋季企画展	- 合掌土偶国宝指定 15 周年記念 - 合掌土偶ができたころ	10/5～11/24	44	5,053	115	260
令和 6 年	冬季企画展	縄文・かたちの美 - 是川遺跡の石器・石製品 -	12/14～3/23	76	2,885	38	170
令和 7 年	春季企画展	掘り day はちのへー令和 5・6 年度発掘資料展ー	4/26～6/22	51	4,708	92	180
令和 7 年	特別展	貝へのあこがれ	7/12～9/7	57	6,406	112	212
令和 7 年	秋季企画展	その土器は三角形▼ 尖底土器の世界	10/4～11/24	45	4,615	103	126
令和 7 年	冬季企画展	縄文・かたちの美 - 是川遺跡のミニチュア製品 -	1/10～3/31	68	2,660	39	170

過去 15 年間の特別展・企画展一覧 (2)

3. 教育普及の実績

前期考古学講座 (5 月～7 月) : 縄文時代の貝塚と貝の利用

実 施	内 容	講 師	参加者 (人)
5/10 (土)	青森県の貝塚と貝製品	三内丸山遺跡センター保存活用課 文化財保護主幹 齊藤慶吏 氏	47
6/14 (土)	貝塚からわかる縄文人の暮らし - 松島湾里浜貝塚を中心として -	奥松島縄文村歴史資料館 文化財専門官 菅原弘樹 氏	41
7/5 (土)	東海地域の貝塚の貝輪生産 - 渥美半島貝塚群での新知見 -	田原市博物館 学芸員 増山禎之 氏	45
合 計			133

後期考古学講座 (12 月～2 月) : 人骨からみる縄文人

実 施	内 容	講 師	参加者 (人)
12/13 (土)	骨が語る縄文の記憶 - 形から読み解くからだ暮らし -	青森中央学院大学看護学部 准教授 藤澤珠織 氏	59
1/17 (土)	ゲノムからみる縄文人	国立科学博物館 生命史研究部人類史研究グループ 研究主幹 神澤秀明 氏	72
2/14 (土)	骨とオコゲの同位体分析で見えてきた 縄文時代の食生活	東京大学総合研究博物館 教授 米田穰 氏	69
合 計			200

これかわ考古学クラブ

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
5/24（土）	開講式	中村行宏（当館館長） 佐藤ひろ・落合美鈴（当館学芸員）	4
6/7（土）	バックヤードツアー	佐藤ひろ・落合美鈴（当館学芸員）	4
8/2（土）	遺跡を掘ってみよう（於：一王寺遺跡）	杉山陽亮・横山寛剛・佐藤ひろ・ 落合美鈴・山田貴博（当館学芸員）	6
10/4（土）	石器を使ってみよう	佐藤ひろ・落合美鈴（当館学芸員）	6
12/6（土）	お気に入りの出土品を展示しよう	佐藤ひろ・落合美鈴（当館学芸員）	7
2/7（土）	修了式	間砂織（当館副館長） 佐藤ひろ・落合美鈴（当館学芸員）	3
合 計			30

春季企画展ギャラリートーク

実 施	講 師	参加者（人）
4/26（土）	山田貴博（当館学芸員）	9
5/3（土）	山田貴博（当館学芸員）	19
5/24（土）	山田貴博（当館学芸員）	2
6/14（土）	山田貴博（当館学芸員）	3
合 計		33

特別展ギャラリートーク

実 施	講 師	参加者（人）
7/12（土）	澁谷侑奈（当館学芸員）	6
7/19（土）	澁谷侑奈（当館学芸員）	5
7/26（土）	澁谷侑奈（当館学芸員）	2
8/2（土）	澁谷侑奈（当館学芸員）	2
8/9（土）	澁谷侑奈（当館学芸員）	1
8/16（土）	澁谷侑奈（当館学芸員）	6
8/23（土）	澁谷侑奈（当館学芸員）	3
8/30（土）	澁谷侑奈（当館学芸員）	15
9/6（土）	船場昌子（当館学芸員）	7
合 計		47

特別展考古学講座

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
8/31（日）	貝輪の考古学 - 古代人を魅了した貝輪の謎にせまる -	東京大学大気海洋研究所 特任研究員 忍澤成視 氏	42
合 計			42

縄文の布を編む講座

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
9/6（土）	解説「縄文の布について」	澁谷侑奈（当館学芸員）	11
	実習「縄文の布を編む」	縄文是川ボランティア	
合 計			11

縄文土器作り講座

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
10/11（土）	素地土作り	澁谷侑奈（当館学芸員） 縄文是川ボランティア	17
10/18（土）	土器作り	佐藤ちひろ（当館学芸員） 縄文是川ボランティア	13
3/21（土）	縄文土器野焼き	天候不良のため中止	-
合 計			30

秋季企画展ギャラリートーク

実 施	講 師	参加者（人）
10/4（土）	落合美怜（当館学芸員）	9
10/11（土）	落合美怜（当館学芸員）	8
10/18（土）	落合美怜（当館学芸員）	6
10/25（土）	小久保拓也（当館学芸員）	7
11/1（土）	落合美怜（当館学芸員）	8
11/8（土）	落合美怜（当館学芸員）	5
11/15（土）	落合美怜（当館学芸員）	5
11/22（土）	落合美怜（当館学芸員）	5
合 計		53

秋季企画展考古学講座

実施	内 容	講 師	参加者（人）
11/1（土）	民族誌から探る非平底の意味 - 丸底土器の意義 -	山梨県立考古博物館 館長 高橋龍三郎 氏	46
合 計			46

遺跡調査報告会

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
11/18（土）	一王寺遺跡（縄文時代）	山田貴博（当館学芸員）	40
	松ヶ崎遺跡（縄文時代）	宇庭瑞穂（当館学芸員）	
	八幡遺跡（古代）	吉田仁香（当館学芸員）	
	中野平遺跡（古代）（おいらせ町）	おいらせ町教育委員会 学芸員 小田切孔誌 氏	
合 計			40

サポートスタッフ研修会（5月～6月）

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
5/17（土）	オリエンテーション	佐藤ちひろ（当館学芸員）	23
5/24（土）	常設展示解説	船場昌子・佐藤ちひろ・落合美怜（当館学芸員）	24
5/31（土）	救命講習	八戸消防署員	13
6/7（土）	体験実習（縄文土器作り・拓本）	佐藤ちひろ・落合美怜（当館学芸員） 縄文是川ボランティア	21
6/21（土）	博物館研修（鹿角市・八幡平市方面）	佐藤ちひろ・落合美怜（当館学芸員）	19
合 計			100

サポートスタッフ研修会（1月～2月）

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
1/24（土）	オリエンテーション	菊地智慧（当館学芸員）	15
1/31（土）	常設展示解説	菊地智慧（当館学芸員）	23
2/7（土）	体験実習（土面作り・火起こし）	佐藤ひろ・菊地智慧（当館学芸員） 縄文是川ボランティア	22
2/15（土）	講話：世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値を伝える	三内丸山遺跡センター 文化財保護主幹 中澤寛将 氏	26
2/21（金）	博物館研修（盛岡市・二戸市方面）	佐藤ひろ・落合美鈴（当館学芸員）	23
合 計			109

日曜日縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実 施	内 容	参加者（人）
夏季前期：4/6（日）～ 7/20（日） 16回	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製ペンダント作り・勾玉作り・土器の文様拓本・縄文の布を編む	260
夏季後期：9/7（日）～ 10/26（日） 8回		117
冬 季：11/2（日）～ 3/29（日） 18回		191
合 計		568

※ 11/17 はイベント等のため日曜日縄文体験コーナー中止。

夏休み縄文体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実 施	内 容	参加者（人）
7/26（土）～8/10（日）6回	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製ペンダント作り・勾玉作り・土器の文様拓本・縄文の布を編む	210
合 計		210

これかわ縄文まつり体験コーナー 体験学習指導：縄文是川ボランティア

実 施	内 容	参加者（人）
8/24（日）	火起こし・縄文土器作り・縄文土偶作り・土製ペンダント作り・縄文の布を編む体験	180
合 計		180

是川縄文の日

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
11/3（月・祝）	常設展ギャラリートーク	杉山陽亮・船場昌子（当館学芸員）	25
	企画展ギャラリートーク	落合美鈴（当館学芸員）	20
	土偶メガネ作り	縄文是川ボランティア	72
	土面作り	縄文是川ボランティア	72
合 計			189

土曜体験教室

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
5/3（土）	滑石でペンダント作り教室	佐藤ひろ・落合美鈴（当館学芸員）	14
7/26（土）	シカの角でペンダント作り教室	佐藤ひろ（当館学芸員）	12
9/13（土）	合掌土偶作り教室	佐藤ひろ（当館学芸員）・ 縄文是川ボランティア	23
11/22（土）	木の実で縄文クッキング教室	佐藤ひろ・落合美鈴（当館学芸員）・ 縄文是川ボランティア	18
3/7（土）	縄文土偶作り教室	菊地智慧（当館学芸員）・ 縄文是川ボランティア	24
合 計			91

是川遺跡クリーンデー

実 施	内 容	参加者（人）
8/23（土）	是川石器時代遺跡及び是川縄文館とその周辺の清掃	19
10/24（金）	是川石器時代遺跡及び是川縄文館とその周辺の清掃	19
合 計		38

その他体験イベント

実 施	内 容	講 師	参加者（人）
5/5（月）	掘り day はちのへ 発掘体験	杉山陽亮・上ノ山拓己・山田貴博・吉田仁香（当館学芸員）	88
5/17（土）	バックヤード見学	杉山陽亮・山田貴博（当館学芸員）	32
7/21（月）	拾ってつくる 貝がらアクセサリー	小久保拓也・船場昌子・佐藤ちひろ・澁谷侑奈（当館学芸員）	17
8/5（火）	八戸の漁業のいまを知ろう！おさかな学習会	八戸市水産事務所職員	30
8/30（土）	種差海岸の貝標本をつくろう	船場昌子・澁谷侑奈（当館学芸員）	16
8/31（日）	貝輪博士と貝輪をつくろう	東京大学大気海洋研究所 特任研究員 忍澤成規 氏	20
11/24（月）	週末縄文人 in 是川縄文館 三角形って実は効率的？！	小久保拓也・落合美怜（当館学芸員）・ 週末縄文人 縄 氏	83
2/11（水）	ミニチュア土器作り	佐藤ちひろ（当館学芸員）・ 縄文是川ボランティア	12
2/22（日）	ミニチュア土器作り	佐藤ちひろ（当館学芸員）・ 縄文是川ボランティア	7
合 計			305

学芸員等による講話・授業 ※館内開催分。館外対応分は p24 を参照されたい。

実 施	内 容	講 師	団体・場所	参加者（人）
9/3（水）	講話「縄文時代と是川遺跡・風張 1 遺跡」	中村行宏	八戸市鷗盟大学 1 年生 （於：是川縄文館）	69
11/29（土）	面接授業「是川遺跡の縄文考古学」 「縄文土器作り」	小久保拓也	放送大学青森学習センター 八戸サテライトスペース （於：是川縄文館）	39
11/16（土）	面接授業「是川遺跡の縄文考古学」 「日本考古学における研究方法の広がり」 「是川遺跡の立地と環境」	杉山陽亮	放送大学青森学習センター 八戸サテライトスペース （於：是川縄文館）	29
11/16（土）	面接授業「是川遺跡の縄文考古学」 「是川遺跡の立地と環境」	横山寛剛	放送大学青森学習センター 八戸サテライトスペース （於：是川縄文館）	29
11/17（日）	面接授業「是川遺跡の縄文考古学」 「世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」	小久保拓也	放送大学青森学習センター 八戸サテライトスペース （於：是川縄文館）	29
11/17（日）	面接授業「是川遺跡の縄文考古学」 「動物考古学からみた縄文時代の暮らし」 「是川遺跡出土品からわかる縄文工芸」	杉山陽亮	放送大学青森学習センター 八戸サテライトスペース （於：是川縄文館）	29
11/17（日）	面接授業「是川遺跡の縄文考古学」 「是川遺跡出土品からわかる縄文工芸」 「晩期縄文文化と是川遺跡の社会」	横山寛剛	放送大学青森学習センター 八戸サテライトスペース （於：是川縄文館）	29
合 計				253



是川遺跡クリーンデー①



是川遺跡クリーンデー②



これかわ考古学クラブ



八戸の漁業のいまを知ろう！おさかな学習会



種差海岸の貝標本をつくろう



是川縄文の日（土面作り）



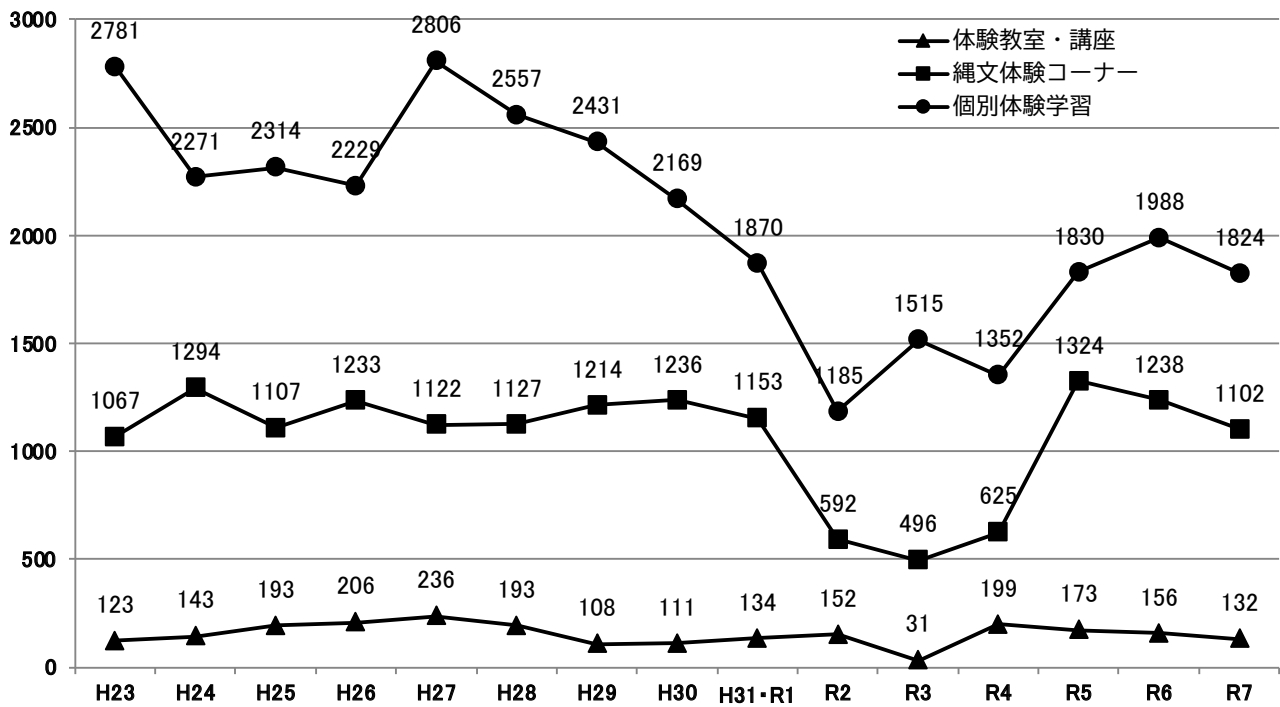
木の実で縄文クッキング教室



縄文土偶作り教室

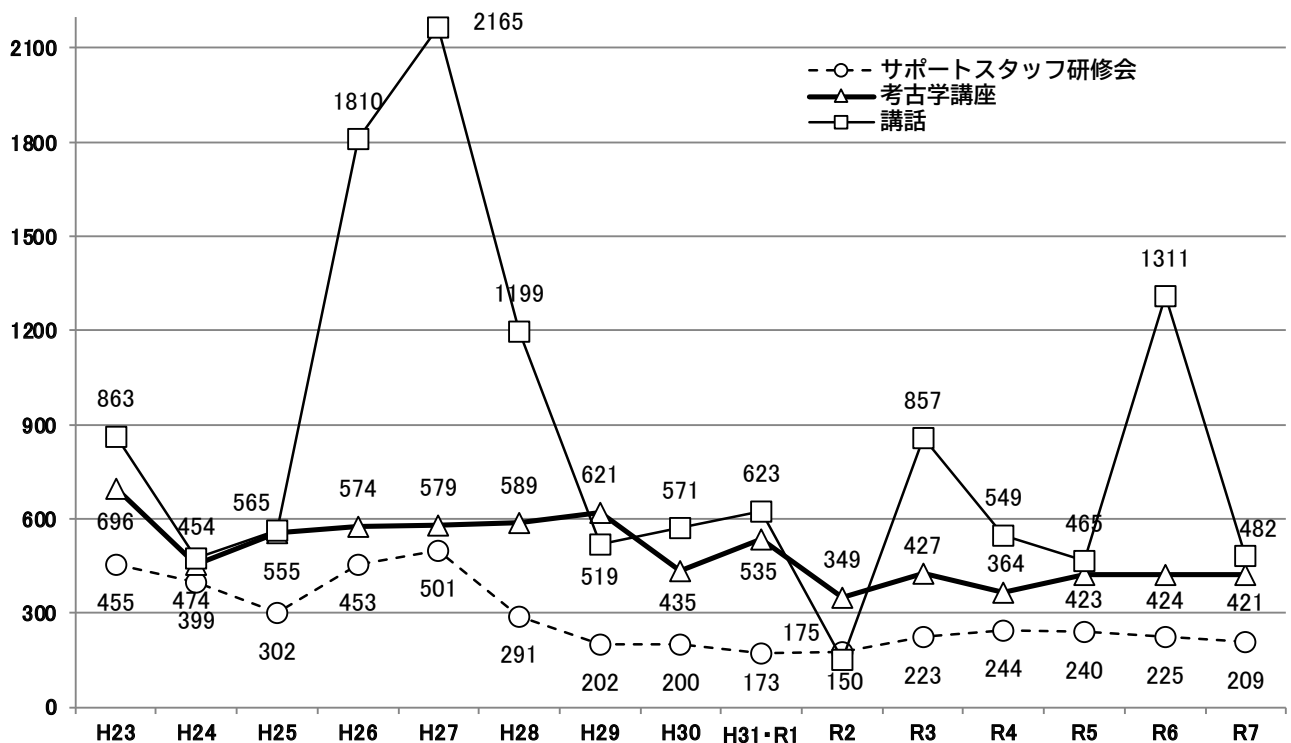
ボランティアによる体験学習の指導 ※参加者数は、各団体来館者のうち実際の体験参加者（引率者等含む）の数を記載する

月日	体験内容	団体名	参加者	月日	体験内容	団体名	参加者
5/2	縄文土器作り	階上町立石鉢小学校 6 学年	35	9/14	火起こし・滑石の勾玉作り	八戸市立是川中学校	12
5/28	縄文土器作り	五戸町立倉石中学校 1 学年	10	9/17	縄文土器作り	階上町道仏小学校 6 学年	21
6/11	縄文土器・土偶作り	私立向陵高等学校 1～3 学年	58	9/18	土製ペンダント作り	幼保連携型認定こども園 ほうりん保育園	28
6/12	火起こし・滑石の勾玉作り	個人	4	9/19	滑石の勾玉作り	八戸市立城下小学校 6 学年	39
6/18	滑石の勾玉作り	独立行政法人国立病院機構 八戸病院	7	9/25	滑石の勾玉作り	八戸市立柏崎小学校 6 学年	84
6/24	縄文土偶作り	鷗盟大学 2 学年	36	9/26	縄文土器作り	公文国際学園中等部	27
7/3	滑石の勾玉作り	八戸市立三条小学校 6 学年	52	9/30	縄文土偶作り	八戸市立是川小学校 2 学年	15
7/4	滑石の勾玉作り	五戸町立上市川小学校 5・6 学年	27	10/1	滑石の勾玉作り	青森県立八戸盲学校・聾学校	12
7/8	滑石の勾玉作り	田子町立田子小学校 6 学年	22	10/3	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 3 学年	16
7/10	縄文土器作り	吹上コープ委員会	15	10/15	火起こし	学校法人正栄学園みどり幼稚園	14
7/17	滑石の勾玉作り	十和田地区幼少婦人防火委員会	5	10/16	土製ペンダント作り	八戸市立是川小学校 1 学年	12
7/20	その他	(出前) こどもはっち夏祭り 【土偶メガネ作り】	142	10/24	その他	(出前) 八戸市立是川中学校 【縄文土器野焼き】	56
7/22	滑石の勾玉作り	八戸市立吹上小学校 6 学年	71	10/30	滑石の勾玉作り	八戸市立大久喜小学校 3～6 学年	9
7/23	火起こし	認定こども園南売市保育園	25	10/31	火起こし・縄文土器作り	八戸市立明治中学校 1 学年	21
7/24	縄文土器作り	八戸市立島守小学校 5・6 学年	9	11/3	その他	是川縄文の日 【土偶メガネ作り】	72
7/26	縄文土偶作り	八戸市中学校合同部活動	14	11/3	その他	是川縄文の日 【土面作り】	72
8/5	滑石の勾玉作り	放課後等デイサービスキャンパス	11	11/18	滑石の勾玉作り	八戸市立長者小学校 6 学年	57
8/6	滑石の勾玉作り	みつは会 みどりのかぜグループ	72	11/21	滑石の勾玉作り	八戸市立根城小学校 6 学年	70
8/7	土製ペンダント作り	NPO 法人放射線測定室アスナロ	18	11/27	縄文土器作り	八戸市立南郷小学校 6 学年	20
8/9	その他	(出前) 青少年のための科学の祭典 2025 【土面作り】	37	11/29	縄文土器作り	放送大学面接授業	29
8/10	その他	(出前) 青少年のための科学の祭典 2025 【土面作り】	41	12/5	滑石の勾玉作り	南部町立名川小学校 6 学年	44
8/12	滑石の勾玉作り	個人	3	12/7	その他	(出前) 出張！縄文遺跡 【土偶メガネ作り】	45
8/13	琥珀の勾玉作り	個人	2	12/20	滑石の勾玉作り	きくよし学童保育	22
8/19	滑石の勾玉作り	八戸市立市川公民館	14	1/10	火起こし・琥珀の勾玉作り	株式会社テクトリー	26
8/20	滑石の勾玉作り	八戸市総合教育センター	29	1/31	火起こし	八戸地方えんぶり保存振興会	3
8/22	滑石の勾玉作り	松館児童館	10	2/6	滑石の勾玉作り	八戸市立田面木小学校 6 学年	35
8/27	編布	是川小学校職員	11	2/20	縄文土器作り	個人	2
9/1	縄文土偶作り	八戸市立是川小学校 6 学年	33	2/22	その他	(出前) 第 21 回はちのへこどもフェスタ 【土偶メガネ作り】	93
9/4	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 4 学年	19	3/14	火起こし	きくよし学童保育	14
9/9	縄文土器作り	八戸市立是川小学校 5 学年	22	合 計			1,824



過去 15 年間の体験学習の利用者推移

※これかわ考古学クラブ、ギャラリートーク、是川遺跡クリーンデー、その他体験イベント参加者を含めない。



過去 15 年間の講演会等の利用者推移

※サポートスタッフ研修会は平成 28 年度から開催回数減。令和 7 年度からさらに開催回数減となっている。

※令和 3 年度の講話参加者数を訂正した（誤 331 → 正 857）。

4. 是川縄文の日

(1) 概要

泉山岩次郎・斐次郎兄弟による是川遺跡発掘100周年の節目となる令和2年に、毎年11月3日を「是川縄文の日」、毎年11月を「是川縄文普及月間」と定め、市民一人一人が、是川の縄文遺跡の価値や縄文文化の多様な魅力を理解するとともに、誇りを持つことができるよう、継続して市民に情報発信していくこととしたものである。

6年目にあたる令和7年度は、学芸員による遺跡ツアーや、縄文是川ボランティアが指導する土偶メガネ作り・土面作りのほか、外ヶ浜町教育委員会によるミュージアムグッズの販売やむーもん登場などのイベントを実施し、824人の来場があった。

(2) 実施内容

○是川縄文の日

期 日 11月3日（月・祝）9:00～17:00

来場者数 824人（令和5年：758人）

内 容 ①無料開放 ②記念品配布 ③学芸員と遺跡ツアー ④企画展ギャラリートーク ⑤土偶メガネ作り ⑥土面作り ⑦さわってみよう！縄文の道具 ⑧縄文パズル ⑨いのるん登場！ ⑩縄文グッズ・ドリンク販売・軽食提供（これカフェ） ⑪出張！むーもん館（外ヶ浜町教育委員会） ⑫野菜販売（是川新鮮あおぞら市） ⑬縄文グッズ・スイーツ販売（千葉学園高等学校）

○是川縄文普及月間

期 日 11月1日（土）～30日（日）

来場者数 3,482人（令和6年：3,102人）

内 容 ①秋季企画展「その土器は三角形▼尖底土器の世界」（10/4～11/24） ②秋季企画展ギャラリートーク（期間中毎週土曜日） ③親子・小中学生向けギャラリートーク ④企画展考古学講座 ⑤トークイベント「週末縄文人in是川縄文館」 ⑥遺跡調査報告会 ⑦木の実で縄文クッキング ⑧日曜日縄文体験コーナー ⑨第十回は川縄文の里俳句大会表彰式（八戸縄文保存協会）



是川縄文の日チラシ



館内の様子



学芸員と遺跡ツアー



いのるんとむーもん

5. 八戸圏域広域的体験学習支援事業（はっふる隊）

平成 27 年度から八戸市教育委員会を中心に開始した連携事業。

「発見！ふるさと体験隊」（はっふる隊）という名称のもと、八戸圏域連携中枢都市圏（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南部町・階上町・新郷村・おいらせ町）の小学校に年 1 回、貸切バスを無償で活用してもらえようにし、圏域内の文化・スポーツ施設での学外研修を支援する取り組みである。当館においても市内小学校を含め、圏域内の小学校から体験学習・展示見学で多く活用されるようになった。

令和 7 年度は、八戸市内 5 校 346 人、市外 2 校 43 人、計 389 人の児童の体験学習指導、展示解説に対応した。

月日	学校名	人数（人）
7/3	八戸市立三条小学校	52
7/8	田子町立田子小学校	22
7/22	八戸市立吹上小学校	75
9/17	階上町立道仏小学校	21
9/25	八戸市立柏崎小学校	87
11/18	八戸市立長者小学校	62
11/25	八戸市立根城小学校	70
計 7 校		389 人

令和 7 年度はっふる隊実績

6. 地域連携

○放送大学との連携

放送大学が教育課程に基づき、学習センター・サテライトスペースが所在する地域の大学等の機関と連携して、実地での面接授業を行う事業。

放送大学青森学習センター・八戸サテライトスペースとの連携により、是川遺跡及び是川縄文館を活用した 2 日間計 8 回にわたる面接授業を開講している。講義には、全国からは川遺跡や是川縄文館に関心をもつ受講生 29 人が集まり、感染症対策をとりつつ講義を実施した。

・講義内容

科目名：「是川遺跡の縄文考古学」（全 8 回）

第 1 回「日本考古学における研究方法の広がり」

第 2 回「縄文土器作り」

第 3 回「是川遺跡の立地と環境」

第 4 回「縄文時代の漆文化」

第 5 回「動物考古学からみた縄文時代の暮らし」

第 6 回「是川遺跡出土品からわかる縄文工芸」

第 7 回「晩期縄文文化と是川遺跡の社会」

第 8 回「世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」

日 時：11 月 29 日（土）（第 1 回 - 第 4 回）、

11 月 30 日（日）（第 5 回 - 第 8 回）

10：00～17：10

会 場：是川縄文館 1F 体験交流室ほか

講 師：小久保 拓也（当館副参事）、

杉山 陽亮（当館副参事）、

横山 寛剛（当館主査兼学芸員）



放送大学面接授業

○高校との連携

・八戸圏域高等学校地域活動促進事業への協力

【縄文グッズ・スイーツ制作・販売】

世界遺産となった是川遺跡や縄文文化への関心を高めることを目的とした、千葉学園高等学校生徒による縄文グッズ・スイーツ制作及び販売。

縄文グッズ制作は、令和3年度から引き続いてのもので、当館学芸員が縄文時代のファッションや文化について助言を行ったもの。生徒が制作した縄文グッズのうち、ヘアゴム・ブローチは当館ミュージアムショップにて令和4年度から継続して販売を行っている。

スイーツ制作は、昨年度に引き続き土偶モチーフの練り切りの制作を行うこととし、市内の菓子店が制作の指導を行ったほか、当館学芸員は土偶についての解説を担当した。

また、11月3日に開催した「是川縄文の日」には、限定品として土偶や土器の文様をモチーフとしたチャームやマドレーヌ及び合掌土偶・板状土偶をモチーフとした練り切りを販売するブースを提供した。イベント開始から多くの来館者が立ち寄り、昨年度以上に用意された品物が全品完売となる盛況ぶりであった。

【リーフレット制作】

小中学生の利用促進を目的とした、八戸東高等学校生徒によるリーフレット制作。画像などの素材を提供するとともに、当館学芸員が内容に助言を行った。完成したリーフレットは生徒の出身校など8校に配布され、受け取った小中学生が当館へ持参することで、効果を測定した。当館はリーフレットの回収に協力を行った。

○是川小学校との連携

縄文時代の衣食住について各学年では川縄文館を利用しながら調べ、発表を行った。

- ・3学年 「縄文時代の食について」
- ・4学年 「縄文時代の衣について」
- ・5学年 「縄文時代の住について」
- ・6学年 「世界遺産 北海道と北東北の縄文遺跡群について」「常設展示案内」

是川小学校との連携事業は次年度も継続予定。



「是川縄文の日」での販売の様子



土偶モチーフの練り切り



調べ学習の様子（是川小学校4学年）

7. 調査研究

(1) 共同研究

【第 5 期共同研究】

是川縄文館では、調査研究を主たる事業として掲げ、大学等の研究機関との共同研究事業を推進している。本事業により蓄積された質の高い研究成果を、館事業で公開活用することを目的としている。

第 1・2 期共同研究では、縄文時代における環境変動とそれに対する人の関わりについて研究を推進した。その成果から、環境変動に適応した縄文人の文化形成のプロセスや変遷の解明が課題として認識され、第 3 期では、火山ガラスからみた八戸地域における土器の変遷と地域間交流の解明についての共同研究を行った。

第 4 期では、中居遺跡出土藍胎漆器や編組製品の編組技法からみた縄文時代の技術知の解明についての共同研究を行い、その成果から、道具毎に素材を選定し、最適期に素材の採取を行うなど、集落生態系の形成と合わせ、是川遺跡の高度な植物利用が明らかになった。

第 5 期では、さらなる植物資源利用の解明のため、漆塗櫛の構造解析や漆塗膜の成分分析を進めることとし、金沢大学人間社会研究域附属古代文明・文化資源学研究所と協議を行い、令和 7 年度から共同研究を推進している。

初年度にあたる本年度は、共同研究の方向性や対象資料、調査計画についての協議を行い、中居遺跡出土漆塗櫛、藍胎漆器の観察・計測、漆塗膜や編組素材分析のためのサンプリングを行った。また、出土遺物の分析に向けた基礎研究として、現生植物のタンパク質分析や漆の塗布実験を実施した。

最終年度に、共同研究の成果を企画展示において公開し、研究の総括論文を是川縄文館研究紀要に掲載する。

○共同研究テーマ『縄文時代の櫛と漆混和剤の研究』

漆塗櫛や藍胎漆器、繊維・編組製品の分析による、素材・製作技法、漆工技術の解明。

○研究期間 令和 7（2025）年 4 月～令和 10（2028）年 3 月（3 ヶ年計画の 1 年目）

○研究体制 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館 館長 中村行宏（以下、職員）

金沢大学人間社会研究域附属古代文明・文化資源学研究所 特任准教授 佐々木由香
明治大学大学院 蒲生侑佳

○研究活動等

藍胎漆器、繊維・編組製品の樹脂包埋切片法およびデジタルマイクロスコープ観察による素材同定
漆塗櫛の X 線 CT 撮影および漆混和剤の解明
結歯式櫛の復元製作による技術知の解明

(2) 学芸員の研究等業績：令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月

【論文等】

令和 7 年 7 月 澁谷侑奈 令和 7 年度特別展図録『貝へのあこがれ』
八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

令和 7 年 11 月 落合美怜 「もう一度訪ねたい日本の遺跡 58 是川石器時代遺跡」『月刊教育旅行』834
日本修学旅行協会
小久保拓也（連名）「青森県是川中居遺跡出土漆製品の年代決定—藍胎漆器を中心に—」
第 40 回植生史学会

令和 7 年 12 月 落合美怜・小久保拓也・船場昌子 令和 7 年度秋季企画展図録
『その土器は三角形▼ 尖底土器の世界』八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

令和 8 年 3 月 澁谷侑奈 「一王寺遺跡の貝類と貝製品」『八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館研究紀要』15 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

【学会報告】

令和8年11月 杉山陽亮 青森県考古学会秋季大会研究発表
「北東北太平洋側における縄文時代早期の生業」八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
山田貴博（共同） 青森県考古学会秋季大会研究発表
「新井田川下流域の縄文時代早期の様相」同上
令和8年12月 宇庭瑞穂 あおもり発掘フェア 2025 発掘調査成果報告
「八戸市松ヶ崎遺跡」
青森県総合社会教育センター

【講話】

実施	内 容	講 師	会 場	参加者 (人)
8/2(土)	「先史工芸の里・是川石器時代遺跡」	小久保拓也	東北歴史博物館	133
8/27(水)	「八幡遺跡と明治小学校」	船場昌子	八戸市立館公民館	30
9/2(火)	練り切りで土偶制作「土偶について」	佐藤ちひろ	千葉学園高等学校	23
11/12(水)	歴史講座「是川石器時代遺跡と世界遺産」	澁谷侑奈	八戸市立根岸公民館	11
11/14(金)	歴史講話「世界遺産について」	小久保拓也	三本木農業恵拓高校	32
合 計				229

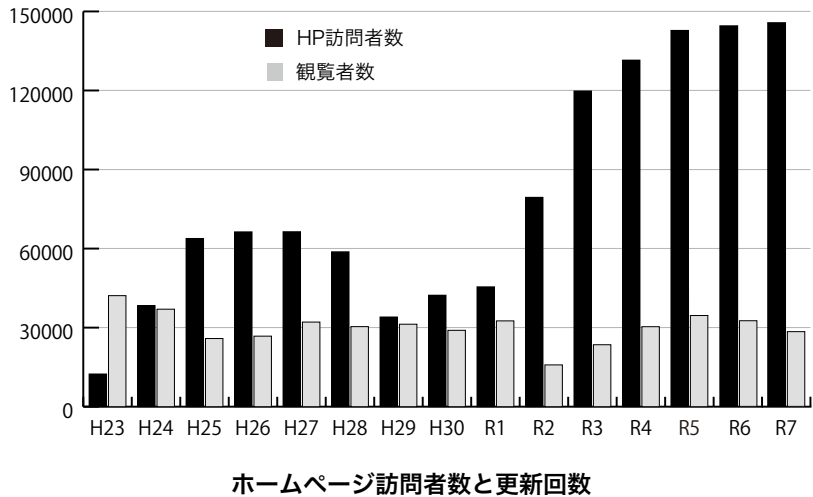
8. 広報・情報発信

館事業の広報及び情報発信事業を下記のとおり行った。

(1) ホームページ

インターネットを利用した広報・情報発信としてホームページを開設している。各職員によるコンテンツの更新が簡便にできるよう CMS（コンテンツマネジメントシステム）を使用し、管理を外部委託している。ホームページ訪問者数は前年より増加し、1日あたりの平均訪問者数は405.2人（令和7年4月～令和8年3月まで）であった。

月	HP 訪問者数	観覧者数	更新回数	平均(人/日)	英語版 HP
4	10,789	1,656	9	359.6	113
5	12,050	3,246	6	388.7	198
6	11,954	2,631	1	398.5	161
7	14,271	2,658	6	460.4	128
8	17,482	5,458	8	563.9	186
9	14,002	2,441	6	466.7	150
10	12,557	2,722	7	405.1	194
11	12,739	3,482	8	424.6	165
12	11,873	859	6	383.0	85
1	8,745	899	3	282.1	80
2	10,958	1,639	4	391.4	111
3	10,485	1,562	5	338.2	101
計	147,905	29,253	69	405.2	1,672



(2) 新聞記事

企画展をテーマとした連載記事を職員等が作成し、開催時期に合わせてデーリー東北新聞に掲載した。

特別展 8/30 の 1 回

秋季企画展 11/11, 11/13, 11/16 の 3 回

(3) 広告掲載

企画展や是川縄文館を PR するために、地元新聞等に広告を掲載した。

・特別展「貝へのあこがれ」開催案内広告

デーリー東北新聞社 (7/1・7/31)

東奥日報社

情報羅針盤コンパス (6/20・6/27)

北東北 3 紙観光企画特集 (7/19)

八戸三社大祭企画 (7/31)

・秋季企画展「その土器は三角形▼ 尖底土器の世界」

開催案内広告

デーリー東北新聞社 (10/12・10/23・10/31)

東奥日報社

北東北 3 紙観光企画特集 (9/20)

菊まつり企画 (10/31)

情報羅針盤コンパス (10/7・10/10・10/12)

(4) BeFM「施設ガイド」

地元コミュニティラジオの施設ガイドで、是川縄文館のイベント情報について紹介した (2 か月に 1 度)。

(5) 図録等刊行

研究紀要のほか、企画展図録等を下記のとおり刊行した。

図録は館内ミュージアムショップで販売している。

- ・「掘り day はちのへー八戸市埋蔵文化財ニュース」第 28 号 A4 版カラー 8 ページ
- ・特別展「貝へのあこがれ」A4 版カラー 100 ページ
- ・秋季企画展「その土器は三角形▼ 尖底土器の世界」A4 版カラー 50 ページ
- ・「研究紀要」第 15 号 A4 版カラー 43 ページ
- ・「重要文化財青森県は川遺跡出土品 保存修理報告書」A4 版カラー 90 ページ
- ・「重要文化財青森県は川遺跡出土品 活用報告書」A4 版カラー 50 ページ

(6) SNS 運用

X (旧 Twitter) で令和 6 年 3 月 15 日から、是川縄文館公式アカウントとして「いのるん【公式】@ inorun_korekawa」の運用を開始し、イベントや館内情報を発信している。

令和 7 年度は、イベントや館内情報について 136 回の投稿を行った。

フォロワーは令和 8 年 3 月 31 日現在で 1,543 人。



デーリー東北連載記事



特別展図録「貝へのあこがれ」

9. ミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」

(1) ミュージアムショップ

国宝「合掌土偶」をデザインしたグッズ、アクセサリー、お菓子のほか、縄文時代をテーマとしたグッズ等を多数販売している。この中には是川縄文館で展示解説や体験学習指導を行っている縄文是川ボランティアが製作した土器や土偶のレプリカも含まれている。また、一般書店では販売していない当館の常設展示図録や特別展等の図録なども販売している。令和7年度は人気商品である合掌土偶の履歴書クリアファイルや測量野帳を増刷したほか、館蔵品を使用したオリジナルシールを作成した。また、千葉学園高等学校生徒が制作した縄文グッズのうちヘアゴムとブローチを令和4年度より継続して販売している。



是川縄文館オリジナルグッズ
(合掌土偶測量野帳)

【商品一例】

ポストカード、キーホルダー、ストラップ、当館キャラクター「いのるん」グッズ、土器及び土偶等のレプリカ、お菓子（クッキー、人形焼、せんべいなど）、当館刊行物、考古学関連書籍等。

(2) 喫茶コーナー

縄文時代に食されていたと考えられるドングリを使用した「縄文らーめん」のほか、栗と南部せんべいをトッピングした「縄文ソフトクリーム」等を提供している。「これカフェ」の運営は、八戸縄文保存協会が行っている。

IV 埋蔵文化財調査等

1. 発掘調査事業概要

八戸市には、491 か所の周知の埋蔵文化財包蔵地（以下、遺跡）が存在する。遺跡内で開発行為を行う場合、文化財保護法 93 条（国又は地方公共団体等が開発主体の場合、同 94 条）が適用され、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、工事着手の 60 日前までに遺跡内の工事に係る届出（通知）書の提出が必要となる。受理された届出により、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、まず遺跡の現状を把握し、必要に応じて試掘調査を行う。試掘調査の結果、開発行為により遺跡が破壊されると判断した場合、本発掘調査により遺跡を記録保存するなどの保護処置をとっている。

また、開発行為が行われる対象地が遺跡の範囲外であっても、遺跡に隣接する場合または掘削が広範囲に及ぶ場合は文化財保護法 99 条に基づき、遺跡の範囲確認のための試掘調査（範囲確認調査）を行うことがある。調査の結果、開発対象地で遺構・遺物が発見された場合、遺跡の範囲変更または新規の遺跡登録を行っている。

ただし、開発行為による掘削範囲が狭小であり、地下への影響が軽微であると判断される場合、事前の試掘調査を行わず、工事立会に対応する場合がある。

八戸市内には長七谷地貝塚・是川石器時代遺跡・丹後平古墳群・根城跡の 4 か所の国指定史跡がある。開発行為がこれら指定地内で行われる場合、事前に八戸市教育委員会社会教育課と協議のうえ、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。申請を受け、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館では、開発行為による史跡指定地の地下遺構への影響を判断するため、遺構の有無や遺構検出面までの堆積状況を把握するための確認調査を行っている。なお、史跡指定地内においては軽微な開発行為であっても、現状変更等許可申請書の提出が必要となる。

(1) 令和 7 年度の発掘調査

令和 7 年度は、23 か所の遺跡で計 37 件の発掘調査を実施した。調査種類の内訳は試掘調査 29 件、本発掘調査 7 件、重要遺跡の内容確認調査 1 件である。

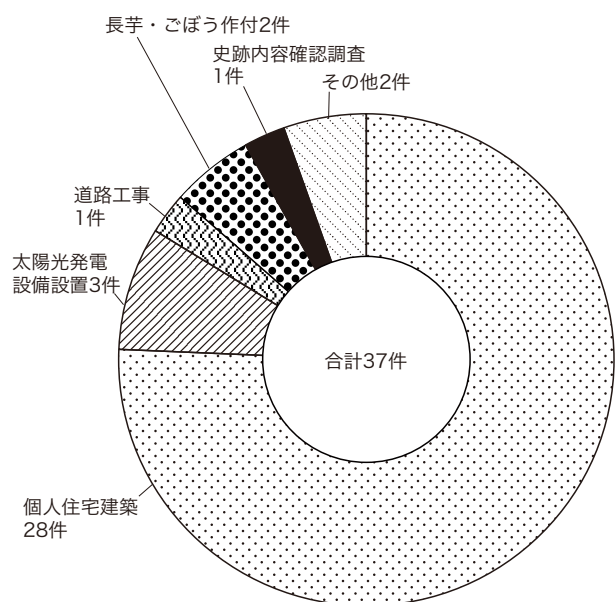
調査原因の種類別では、個人住宅建築 28 件、太陽光発電設備設置 3 件、長芋作付け 2 件・道路改良工事・史跡内容確認・蓄電池設置・送電線建替に伴うものが各 1 件である。

発掘調査の件数は、個人住宅建築に伴うものが

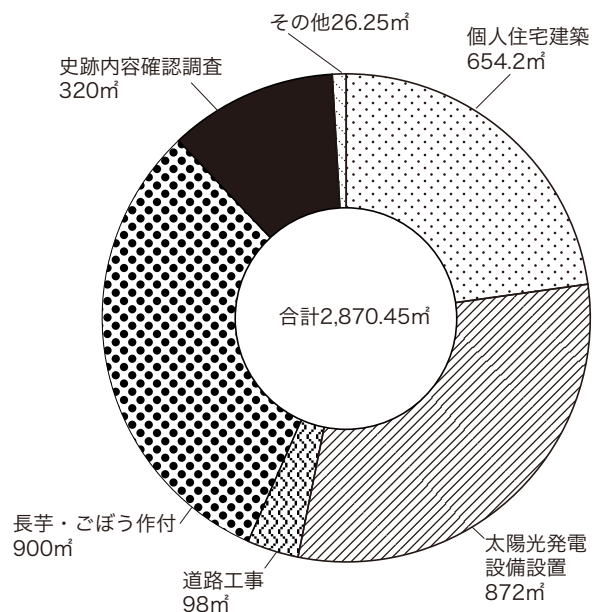
最も多く、全体の 75% を占める。太陽光発電設備設置がそれに次ぎ 8 % である。

調査面積では長芋作付けが最も多く、次いで太陽光発電設備設置が僅差で続く。長芋作付けと太陽光発電設備設置で全体の約 62% を占める。個人住宅は全体の 22% を占めるにとどまった。

松ヶ崎遺跡第 11 地点の調査は、開発範囲 8,622㎡を令和元年度から継続して調査しているもので、令和 7 年度で最終年度となり、最後の約 200㎡の範囲を調査して令和 7 年 6 月に終了した。



令和 7 年度調査原因ごとの発掘件数内訳



令和 7 年度調査原因ごとの調査面積内訳

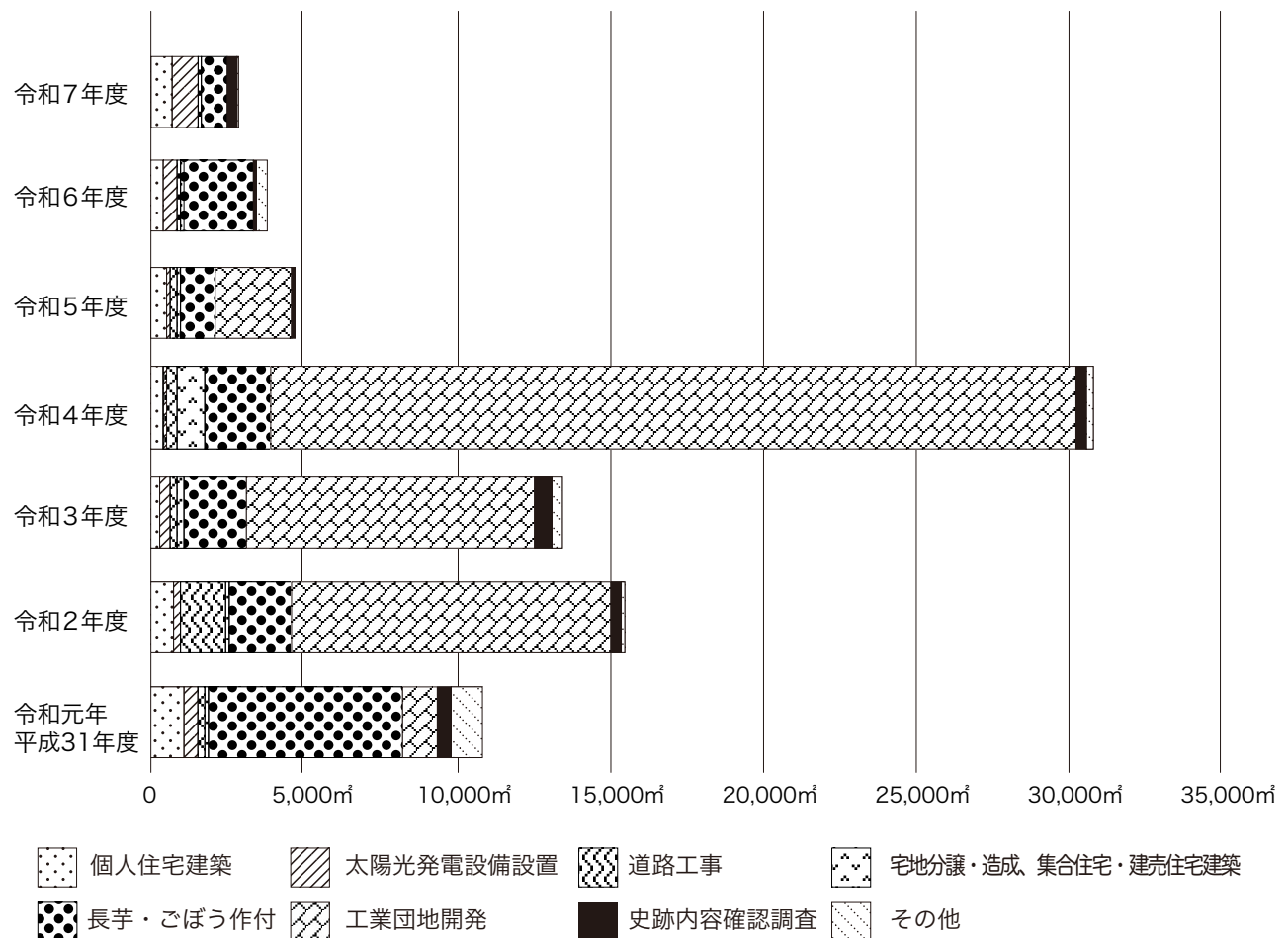
(2) 過年度との比較

令和 7 年度の調査件数は、令和 6 年度から 8 件増加し、37 件となった。調査原因ごとに比較すると、個人住宅建築に伴う調査件数が令和 6 年度のと比較して 10 件増加し、令和 2 年度以前の水準に戻った。一方、宅地分譲や集合住宅等に伴う調査に伴う調査はなかった。

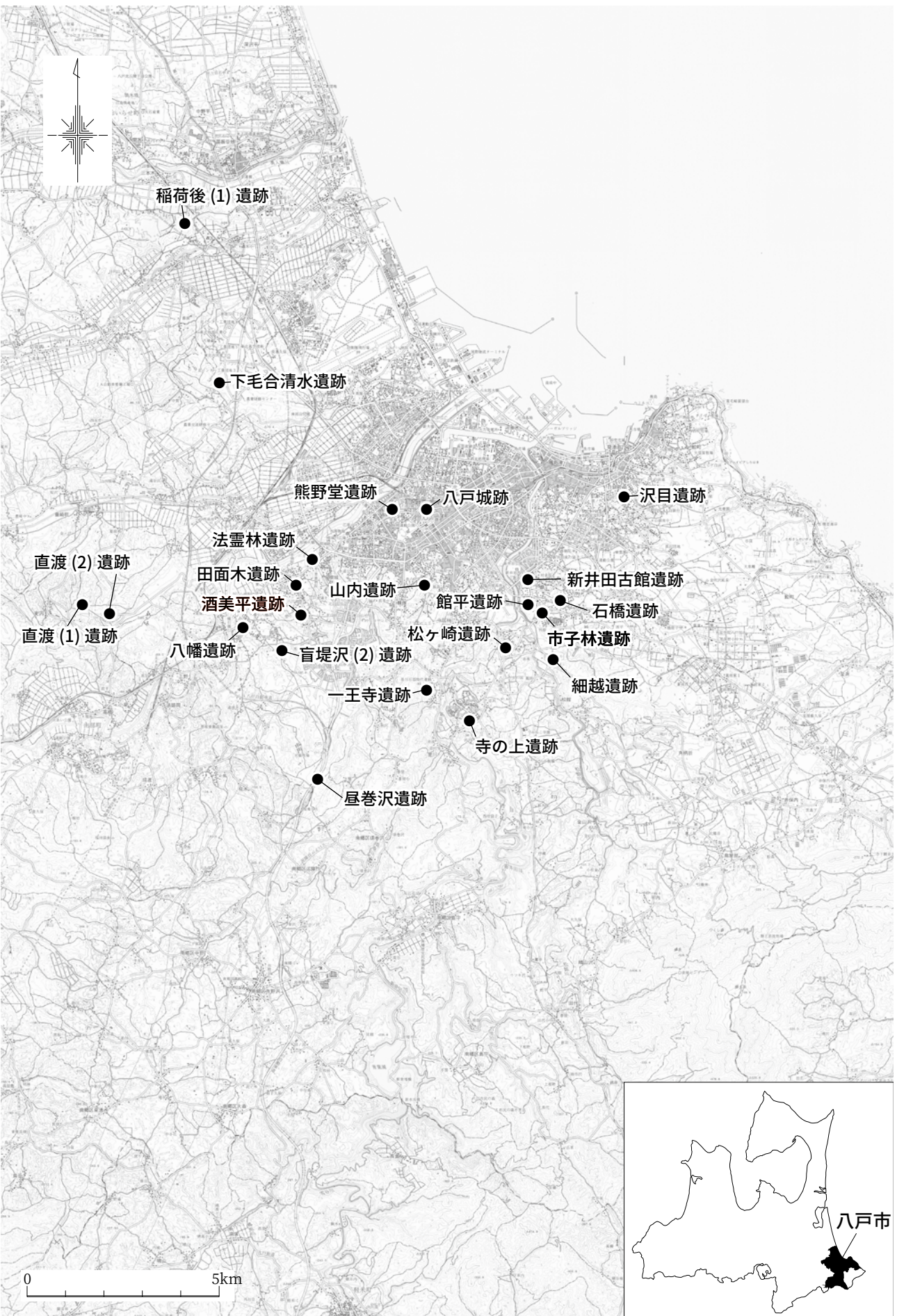
調査面積は昨年度より約 25% 減少した。これは、長芋作付けに伴う松ヶ崎遺跡第 11 地点の調査が終了したことによる。

調査原因	平成 31 年度・令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)
個人住宅建築	33	1,086	27	783	20	292	25	346	20	547	18	407	28	654.2
太陽光発電設備設置	9	401	5	170	4	369	1	64	2	94	3	405	3	872
道路工事	1	270	1	1,464	2	237	1	480	2	160	1	157	1	98
宅地分譲・造成、集合住宅・建売住宅建築	2	51	2	80	4	178	5	854	3	167	1	12	0	0
長芋・ごぼう作付	3	6,480	2	2,103	2	2,077	1	2,200	1	1,098	1	2,322	2	900
工業団地開発	1	1,123	2	10,447	5	9,371	5	26,366	1	2,500	0	0	0	0
史跡内容確認調査	1	400	1	328	1	564	1	340	1	1	1	6	1	320
その他	6	1,015	2	32	4	413	4	149	0	0	4	500	2	26.25
合計	56	10,826	42	15,407	42	13,501	43	30,799	30	4,567	29	3,809	37	2,870.45

平成 31・令和元～令和 7 年度の調査原因件数と調査面積の内訳



平成 31・令和元～令和 7 年度の調査原因ごとの調査面積の推移



令和 7 年度八戸市内発掘調査位置図 (S : 12 万分の 1)

No	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	種別／主な時代
1	沢目遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 4 月 8 日	12.00	縄文／散布地
2	盲堤沢(2)遺跡①	試掘調査	蓄電池設置	令和 7 年 4 月 10 日	10.00	縄文／散布地
3	八幡遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 4 月 25 日	12.00	縄文・弥生・奈良・平安・中世・近世／集落跡・社寺跡
4	昼巻沢遺跡①	試掘調査	送電線 建替工事	令和 7 年 4 月 25 日	16.25	縄文／散布地
5	直渡(1)遺跡①	試掘調査	太陽光発電所 設置	令和 7 年 5 月 22・23 日	160.00	縄文／散布地
6	寺の上遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 5 月 26・27 日	58.00	縄文／散布地
7	市子林遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 5 月 28 日	25.00	縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世／集落跡
8	稲荷後(1)遺跡① ／第 1 地点	試掘調査	太陽光発電所 設置	令和 7 年 5 月 28 日～ 6 月 3 日	700.00	縄文・平安／散布地
9	法霊林遺跡① ／第 9 地点	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 6 月 3 日	30.00	縄文・奈良・平安／集落跡
10	八幡遺跡② ／第 8 地点	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 6 月 17・18 日	19.00	縄文・弥生・奈良・平安・中世・近世／集落跡・社寺跡
11	熊野堂遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 6 月 18 日	13.50	縄文・奈良・平安／集落跡
12	市子林遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 6 月 19 日	9.00	縄文・古墳・奈良・平安・中世・近世／集落跡
13	下毛合清水遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 6 月 23 日	21.00	縄文・平安／散布地
14	直渡(2)遺跡	試掘調査	太陽光発電所 設置	令和 7 年 7 月 1・2 日	12.00	平安／散布地
15	沢目遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 7 月 2 日	12.00	縄文／散布地
16	石橋遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 7 月 8 日	5.00	平安／集落跡
17	新井田古館遺跡① ／第 37 地点	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 7 月 8～10 日	11.00	縄文・奈良・平安・中世・近世／ 集落跡・城館跡
18	館平遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 8 月 5 日	11.00	縄文・平安・中世／集落跡・城館跡
19	山内遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 9 月 10 日	13.00	縄文・平安／散布地
20	細越遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 9 月 11・12 日	13.00	奈良・平安／散布地
21	山内遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 10 月 8 日	1.50	縄文・平安／散布地
22	熊野堂遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 10 月 15 日	1.00	縄文・奈良・平安／集落跡
23	新井田古館遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 10 月 15 日	8.00	縄文・奈良・平安・中世・近世／ 集落跡・城館跡
24	市子林遺跡③	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 10 月 30 日	4.00	縄文・古墳・奈良・平安・中世・ 近世／集落跡
25	山内遺跡③	試掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 11 月 11 日	9.00	縄文・平安／散布地
26	法霊林遺跡②	試掘調査	個人住宅建築	令和 8 年 3 月 12 日	9.00	縄文・奈良・平安／集落跡
27	新井田古館遺跡③	試掘調査	個人住宅建築	令和 8 年 3 月 17 日	8.00	縄文・奈良・平安・中世・近世／ 集落跡・城館跡
28	熊野堂遺跡③	試掘調査	個人住宅建築	令和 8 年 3 月 18 日	8.00	縄文・奈良・平安／集落跡
29	酒美平遺跡①	試掘調査	個人住宅建築	令和 8 年 3 月 19 日	19.00	縄文・飛鳥・奈良・平安／集落跡
30	松ヶ崎遺跡 第 11 地点	本発掘調査	長芋作付け	令和 7 年 4 月 7 日～ 6 月 7 日	200.00	縄文・奈良・平安／集落跡・貝塚
31	熊野堂遺跡 第 11 地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和 7 年 4 月 7～25 日	40.00	縄文・奈良・平安／集落跡
32	田面木遺跡 第 63 地点	本発掘調査	長芋作付け	令和 7 年 6 月 2～18 日	700.00	縄文・弥生・奈良・平安／散布地・ 集落跡

令和 7 年度八戸市内遺跡発掘調査一覧(1)

No	遺跡名	調査	調査原因	調査期間	調査面積 (㎡)	種別／主な時代
33	法霊林遺跡 第9地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和7年6月10～13日	22.20	縄文・奈良・平安／集落跡
34	八幡遺跡 第8地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和7年7月7日～ 8月18日	140.00	縄文・弥生・奈良・平安・中世・ 近世／集落跡・社寺跡
35	新井田古館遺跡 第37地点	本発掘調査	個人住宅建築	令和7年8月19日～ 10月3日	120.00	縄文・奈良・平安・中世・近世／ 集落跡・城館跡
36	八戸城跡 54地点	本発掘調査	道路改良工事	令和7年11月10～12日	98.00	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・ 近世・近代／城館跡
37	一王寺遺跡	史跡内容 確認調査	史跡内容 確認調査	令和7年7月1日～ 10月31日	320.00	縄文・弥生・奈良・平安・近世／ 散布地・集落跡

令和7年度八戸市内遺跡発掘調査一覧(2)

2. 調査概要

調査遺跡名	地点名	調査担当者	調査結果			
			主な時代	主な遺構	主な出土遺物	特記事項
さわめ 沢目遺跡	①	上ノ山拓己	—	なし	なし	
	②	上ノ山拓己	—	なし	なし	
めくらつみざわ 盲堤沢(2)遺跡	①	横山寛剛	—	なし	なし	
やわた 八幡遺跡	①	上ノ山拓己	古代	竪穴建物跡	縄文土器 土師器 須恵器	開発中止のため、本 調査なし
	8 (②)	吉田仁香	古代 中世	竪穴建物跡 土坑 溝跡	縄文土器 弥生土器 土師器 須恵器 陶磁器 鉄製品	
ひるまきざわ 昼巻沢遺跡	①	横山寛剛	—	なし	なし	
すがたり 直渡(1)遺跡	①	横山寛剛	—	なし	縄文土器	遺物のみ出土
てらうえ 寺の上遺跡	①	吉田仁香	—	なし	なし	
いちこばやし 市子林遺跡	①	山田貴博	—	なし	なし	
	②	吉田仁香	—	なし	なし	
	③	山田貴博	—	なし	なし	
いなりうしろ 稲荷後(1)遺跡	1 (①)	上ノ山拓己	縄文時代 古代	竪穴建物跡 土坑 溝状土坑	縄文土器 石器 土師器	
ほうりょうばやし 法霊林遺跡	9 (①)	吉田仁香	古代	竪穴建物跡	土師器	
	②	山田貴博	—	なし	なし	
くまのどう 熊野堂遺跡	11	吉田仁香	古代	竪穴建物跡 土坑 溝跡	土師器 須恵器 鉄製品	
	①	吉田仁香	—	なし	なし	
	②	宇庭瑞穂	—	なし	なし	
	③	山田貴博	—	なし	なし	
しもけあいしみず 下毛合清水遺跡	①	山田貴博・宇庭瑞穂	—	なし	なし	
すがたり 直渡(2)遺跡	①	上ノ山拓己	—	なし	なし	

※ 地点名は、丸付きの数字が令和7年度中の試掘調査の通番、丸なしの数字は遺跡ごとの調査地点番号をさす。

調査遺跡名	地点名	調査担当者	調査結果			
			主な時代	主な遺構	主な出土遺物	特記事項
いし ばし 橋 遺 跡	①	宇庭瑞穂	—	なし	なし	
にい だ ふるだて 新井田古館遺跡	37 (①)	吉田仁香	中世以降	竪穴建物跡 溝状土坑 ピット	縄文土器 土師器 陶磁器 銭貨	
	②	吉田仁香	—	なし	なし	
	③	宇庭瑞穂	—	ピット	なし	
たて ひら 館 平 遺 跡	①	上ノ山拓己	—	なし	なし	
やま うち 山 内 遺 跡	①	宇庭瑞穂	—	なし	なし	
	②	吉田仁香	—	なし	なし	
	③	宇庭瑞穂	—	なし	なし	
ほそ ぐさ 細 越 遺 跡	①	宇庭瑞穂・上ノ山拓己	—	なし	土師器 須恵器	遺物のみ出土
さか み たい 酒 美 平 遺 跡	①	山田貴博	—	なし	なし	
まつ が さき 松 ケ 崎 遺 跡	11	宇庭瑞穂	縄文時代	竪穴建物跡	縄文土器 土製品 石器 石製品	令和元年度からの継続調査
た も の き 田 面 木 遺 跡	63	山田貴博	古代	竪穴建物跡	土師器 須恵器 土製品 鉄製品	
はち のへ じょう 八 戸 城 跡	54	上ノ山拓己	縄文時代 近世以降	溝状土坑 柱穴	なし	
いち おう じ 一 王 寺 遺 跡	-	横山寛剛・山田貴博	縄文時代	竪穴建物跡 土坑 溝跡 盛土遺構	縄文土器 土製品 石器 石製品	

※ 地点名は、丸付きの数字が令和7年度中の試掘調査の通番、丸なしの数字は遺跡ごとの調査地点番号をさす。

3. 主な調査成果

(1) 八幡遺跡 第8地点

【調査地】八戸市大字八幡字館ノ下地内

【遺跡概要】本遺跡は、馬淵川東岸の標高6～20mの台地上に立地する。遺跡内には住宅のほか、明治小学校や館市民サービスセンター、館郵便局、共同墓地などが所在する。これまでの発掘調査により、縄文時代晩期～弥生時代前期、古代（飛鳥・奈良・平安）、中世、近世の遺構・遺物が認められ、人びとによって長期にわたって利用され続けた場所であることが明らかとなっている。

【調査原因】個人住宅建築 【調査面積】約140㎡

【本発掘調査期間】令和7年7月7日～8月18日

【検出遺構】平安時代の竪穴建物跡2棟、中世の竪穴建物跡1棟・溝跡1条、平安時代以降の詳細な時期不明の竪穴建物跡13棟・土坑14基・溝跡1条

【調査成果】調査地点は本遺跡の南西部分に当たり、調査事例がなかった区域であった。調査の結果、



全体完掘の様子

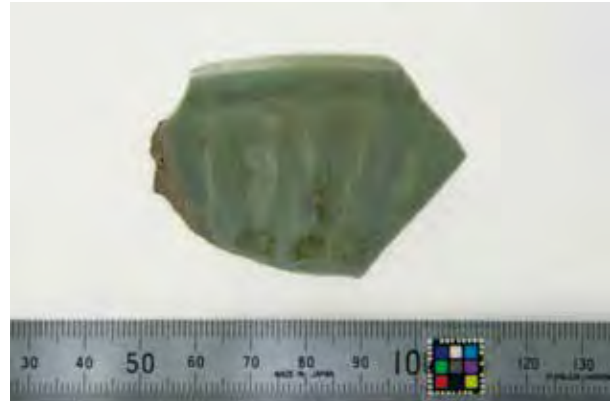
調査区の右下から上中央に見える筋が中世の溝跡。

狭小の面積に関わらず、数多くの平安時代以降の遺構が検出され、さらに各遺構は重複しており、この土地を繰り返し使用した痕跡が認められた。古代については、これまでの調査においても集落が広がることは推定されていたが、本地点においても平安時代の竪穴建物跡が検出されたことにより、遺跡のある台地一帯に古代集落が展開していたことが明らかとなった。中世の溝跡は薬研堀で、



中世の溝跡の様子

本地点を南北に縦断し、幅 3.5m、深さ約 1.7m であり、本遺跡で最も規模が大きいものである。この溝跡の埋土上部からは、13 世紀中頃～14 世紀前半頃に製作された中国製の青磁碗が出土した。この時期の遺物や遺物は市内でも希少であり、溝跡や竪穴建物跡の帰属時期については詳細な検討を要するが、中世における本遺跡の利用のされ方を考えるうえで重要な成果となった。



中国製青磁碗

13 世紀中頃～14 世紀前半のもの。
中世の溝跡から出土した。

(2) 田面木遺跡 第 63 地点

【調査地】八戸市大字田面木字山道下夕地内

【遺跡概要】本遺跡は、馬淵川東岸の丘陵上に位置し、馬淵川を北東に臨む、標高 24～50 m の斜面地に立地する。遺跡の西側には、八戸工業高等専門学校や田面木小学校が所在し、北東側の斜面地を降った先には在家堤があり、現在でも豊かな水をたたえている。これまでの調査により、縄文時代から古代の遺構・遺物が検出されているが、古代（飛鳥・奈良・平安）の竪穴建物跡が主体的に検出されており、古代集落が継続的に営まれていたことがわかっている。



全体完掘の様子

左手前は奈良時代、中央奥は平安時代の竪穴建物跡。

【調査原因】長芋作付け 【調査面積】約 700m²

【本発掘調査期間】令和 7 年 6 月 1 日～6 月 18 日

【検出遺構】縄文時代の溝状土坑 2 基、奈良時代の竪穴建物跡 1 棟、平安時代の竪穴建物跡 3 棟、焼土遺構 1 基、時期不明の土坑 1 基

【調査成果】今回調査の 63 地点は、遺跡の北西隅に当たり、過年度に調査を実施し、古代の遺構が数多く検出された 42・43・47・49・50 地点を含む敷地の一画であり、かねてより遺構の存在が想定された場所であった。調査では、奈良時代と平安時代の竪穴建物跡が隣り合って検出され、奈良



奈良時代の竪穴建物跡の様子

北壁中央にカマドが設けられている。

時代の建物は北壁にカマドを設ける北カマド、平安時代のものは南カマドであり、竪穴建物跡のカマド位置に違いがみられた。本遺跡の他地点の調査を含め、八戸地域における奈良時代の竪穴建物跡には、おおむね北壁中央に設ける北カマドがみられるが、平安時代にはカマド位置に統一性が失われ、南カマドなどもみられるようになり、さら

に壁中央ではなく、左右に偏る場合が多い。このような時期毎のカマド位置の特徴については、いまだ理由は明らかとはなっていないものの、今回の事例をみる限り、地形がカマドの位置を制約する決定的な要因とはならないことを示しており、大変興味深い事例となった。

令和7年度発掘調査のようす



直渡(1)遺跡①



屋巻沢遺跡①



稻荷後(1)遺跡①



松ヶ崎遺跡第11地点



熊野堂遺跡第11地点



法霊林遺跡第9地点

4. 発掘調査報告書

令和 7 年度には、発掘調査の成果を埋蔵文化財調査報告書として計 3 冊を刊行した。

	書名	シリーズ名	シリーズ番号	編著者	発行年月日
1	八戸市内遺跡発掘調査報告書 51 令和 6 年度 国庫補助事業に係る発掘調査報告書	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第 189 集	上ノ山拓己・横山寛剛 ・吉田仁香	令和 8 (2026) 年 3 月 19 日
	所収遺跡名：館遺跡第 1 地点・雷遺跡第 15 地点・田面木遺跡第 62 地点・熊野堂遺跡第 10 地点 ・松ヶ崎遺跡第 22 地点・松ヶ崎遺跡第 23 地点				
2	八戸市内遺跡発掘調査報告書 52 松ヶ崎遺跡第 11 地点 I 令和元・2・3 年度発掘調査成果	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第 190 集	宇庭瑞穂	令和 8 (2026) 年 3 月 19 日
	所収遺跡名：松ヶ崎遺跡第 11 地点				
2	八戸市内遺跡発掘調査報告書 53 史跡是川石器時代遺跡 一王寺遺跡内容確認調査概要報告書	八戸市埋蔵文化財調査報告書	第 191 集	横山寛剛	令和 8 (2026) 年 3 月 19 日
	所収遺跡名：一王寺遺跡				

5. 情報公開

(1) 現地説明会

○一王寺遺跡現地説明会

開催日時：令和 7 年 10 月 18 日（土）

1 回目 10：30～11：30

2 回目 14：00～15：00

開催場所：八戸市大字是川字一王寺地内

参加者数：1 回目 39 人／2 回目 16 人



一王寺遺跡現地説明会の様子

(2) 令和 7 年度遺跡調査報告会

令和 7 年度に実施した発掘調査を中心に、主だった成果があった遺跡について報告した。

また、今回は特別報告として古代の集落跡がみつかったおいらせ町中野平遺跡について、おいらせ町教育委員会の小田桐孔誌氏をお招きして報告いただいた。

開催日時：令和 7 年 11 月 8 日（土）

14：00～16：00

報告内容：

【報告遺跡】14：00～16：00

- ・一王寺遺跡（是川 縄文時代）
- ・松ヶ崎遺跡（十日市 縄文時代）
- ・八幡遺跡（八幡 古代）
- ・中野平遺跡（おいらせ町 古代）

【主な展示】9：00～16：30

- ・一王寺遺跡の縄文土器・石器など
- ・松ヶ崎遺跡の縄文土器・石製品など
- ・八幡遺跡の縄文土器・土師器・陶磁器など
- ・中野平遺跡の土師器など



調査報告の様子

6. 是川遺跡出土品ほか美術工芸品保存修理事業

事業計画 重要文化財「青森県是川遺跡出土品」および重要文化財「青森県風張 1 遺跡出土品」の保存修理及び保存台の作成を行う。
(第 1 期：平成 24～28 年度、第 2 期：平成 29～令和 2 年度、第 3 期：令和 3～6 年度、第 4 期：令和 7～10 年度)

期 間 令和 7 年 5 月 26 日～令和 8 年 3 月 11 日
概 要 八戸市では国庫補助金の交付を受けて重要文化財「青森県是川遺跡出土品」の保存修理を進めている。また、令和 7 年度からは重要文化財「青森県風張 1 遺跡出土品」の保存修理を開始した。保存修理を実施することにより、資料の劣化を抑制するとともに、本来の状態を復元し広く公開活用に供することができる。事業内容は是川縄文館のホームページなどで紹介している。

内 容 是川遺跡出土漆製品（樹皮製容器）1 点、繊維製品 1 点、風張 1 遺跡出土の深鉢形土器 1 点、玉 70 点の保存修理と保存台作成を実施した。

受 託 者 株式会社吉田生物研究所（京都府）
事 業 費 5,036 千円（50% 国庫補助。）



風張 1 遺跡出土深鉢形土器の保存修理
欠損部に樹脂を充填して色付け（左）、修理完了（右）



風張 1 遺跡出土玉の保存修理
修理のために解体した状態（左）と修理完了（右）



風張 1 遺跡出土玉の保存修理
保存修理した風張 1 遺跡出土の玉を作成した保存台に収めた状態



修理前



修理後

是川遺跡出土樹皮製容器残欠の保存修理
破線で示した部分の亀裂や孔を補修



是川遺跡出土樹皮製容器残欠の保存修理
保存修理した是川遺跡出土 樹皮製容器残欠を作成した保存台に収めた状態

7. 埋蔵文化財保存活用事業

- 事業計画** 平成 25 年から 30 年度まで国庫補助事業で行った出土品の収蔵整理及びデータベース化を、平成 31(令和元)年度より市単独事業で継続している事業の 7 年目である。
- 期 間** 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
- 概 要** 収蔵資料のデータベース化のほか、鉄製品・木製遺物等の保護処置、図書の整理・データベース化、発掘調査報告書のデジタル化・公開、フィルム写真のデジタル化、報告書掲載外資料の再整理
- 事業費** 12,940 千円
- 内 容** 出土した資料計 305 点のデータベース化を行い、収蔵庫へ収納した。

8. 重要文化財是川遺跡出土品保存修理・活用報告書

八戸市是川に所在する是川遺跡は、一王寺遺跡、堀田遺跡、中居遺跡の 3 遺跡を合わせ「是川石器時代遺跡」として国の史跡に指定されている。故泉山岩次郎氏とその義弟の故泉山斐次郎氏によって発掘された膨大な数の出土品は、両氏の努力により散逸することなく一括保存されてきた。現在は、そのすべてが八戸市に寄贈され、当館にて収蔵・保管・展示している。

是川遺跡出土品は、昭和 37 年に「陸奥国是川遺跡出土品」として 663 点が重要文化財に指定され、平成 23 年に「青森県是川遺跡出土品」として主名称の旧国名を県名に改めるとともに、330 点が重要文化財に追加指定された。

令和 7 年度は、これらの重要文化財指定品について、これまで行ってきた保存修理と活用の内容をまとめて報告した。

是川遺跡出土品は、今から約 3 千年前の漆製品や木製品が含まれるため、品質や形状を保つための保存修理や、安全な保管と活用を行うための安定台製作を進めている。

また、是川遺跡出土品は、これまでに整備してきた展示施設での公開のほか、貸出公開、復元製作やレプリカ製作、共同研究などで活用しているほか、依頼される講演を通して、遺跡や出土品の魅力や重要性を伝えている。

これらの報告書は、関係機関に配布するとともに、是川縄文館ホームページにて公開した。



重要文化財青森県是川遺跡出土品
保存修理・活用報告書

V 史跡整備

1. 史跡是川石器時代遺跡 第 1 期整備事業

是川石器時代遺跡の発掘調査及び研究の成果を基に、八戸の縄文文化の魅力を伝え、生涯学習・観光・まちづくりの拠点や憩いの場として「是川縄文の里」を整備する事業。

＜これまでの実績＞

平成 27 年度「史跡是川石器時代遺跡保存活用計画」策定

平成 29 年度「是川石器時代遺跡第 1 期整備基本計画」策定

＊是川石器時代遺跡を構成する 3 遺跡のうち、内容確認が最も進んでいる中居遺跡を対象とする。

平成 30 年度地形測量、第 1 期整備基本設計

令和元年度第 1 期整備工事開始

令和 7 年度は、中居遺跡を北工区・南工区に分割したうち、南工区の地形造成及び北工区の不用樹木伐採等工事を行った。整備工事にあたっては、文化財保護法第 125 条第 1 項の規定に基づく史跡の現状変更の許可を受けて実施している。

南工区地形造成により復元した沢には、遺構保護のための地下水位観測井を設置し、地下水位の継続的なモニタリングを開始した。観測データは水位計から遠隔監視システムに送信され、オンラインでデータ管理を行っている。

また、南工区の遺構復元・植栽・園路等整備及び北工区の地形造成等の実施設計を策定した。令和 8 年度より実施設計に基づく南工区の遺構復元・植栽等工事を行い、縄文時代晩期のムラの景観を本格的に復元していく。



整備完成イメージ

2. 史跡維持管理

史跡是川石器時代遺跡の環境保全・景観管理のため、館の繁忙期や行事による来館者の往来、草の繁茂状況を鑑みて4月から10月にかけて除草を実施した。

また、乗用草刈機による除草を行い、景観維持に努めた。

○ヤギ除草（堀田遺跡・中居遺跡地内）

面 積：約 13,700㎡

期 間：4月16日～10月31日

受託者：八戸市森林組合

事業費：1,802 千円



除草するヤギ

○除草・清掃（分館敷地・是川遺跡記念碑）

面 積：約 16,000㎡

期 間：4月30日～10月31日

受託者：社会福祉法人ユートピアの会

事業費：2,750 千円



乗用草刈機

○除草（一王寺遺跡地内）

面 積：約 68,400㎡

期 間：5月30日～11月30日

受託者：株式会社根城グリーン建設

事業費：2,750 千円

3. 世界遺産に関する取組

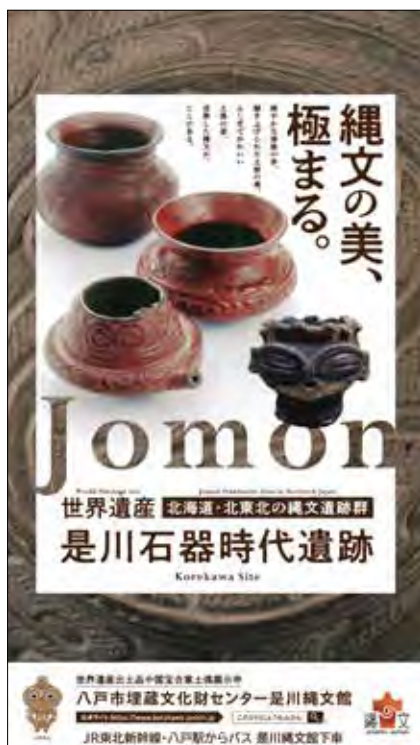
八戸市は、北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県14市町による共同推進体制の一員として、史跡是川石器時代遺跡をはじめとする「北海道・北東北の縄文遺跡群（以下縄文遺跡群）」の世界遺産登録を目指し、令和3年7月27日に縄文遺跡群の世界遺産一覧表の「記載（登録）」が決定した。

縄文遺跡群の適切な保存管理のため、縄文遺跡群世界遺産本部のもと、協議会・青森県部会・専門家委員会で包括的保存管理体制、構成資産の経過観察や遺産影響評価等の協議を進めている。令和2年度から継続して実施している経過観察を実施し、庁内関係課で組織する「史跡是川石器時代遺跡保存活用連絡会議」の連携により年次報告書を作成した。また、遺産影響評価を本格的に実施し、令和7年度は構成資産内2件、緩衝地帯内2件の評価を行った。

令和5年度より世界遺産PR事業として、JR各社車内誌への広告掲載や駅デジタルサイネージ広告を実施している。令和7年度は、JR北海道車内誌への広告掲出、JR東日本東京駅・上野駅・品川駅のほか、4道県による福岡フォーラムに合わせ、JR九州博多駅構内デジタルサイネージ広告を実施した。このほか、八戸市営バスでのバスラッピング広告1台も継続して実施している。



JR 北海道車内誌広告



デジタルサイネージ 広告（3種）

4. 一王寺遺跡内容確認調査

【調査地】八戸市大字是川字一王寺 1、2-2、2-5 の一部、4-2 の一部、4-3 の一部、5-1 の一部、5-2

【担当職員】横山 寛剛・山田 貴博

【検出遺構】竪穴建物跡 15 棟、土坑 12 基、溝跡 2 条、焼土遺構 2、盛土遺構

【出土遺物】縄文土器、土師器、土製品、石器、石製品、動物遺存体、人骨

【調査概要】

史跡是川石器時代遺跡は、一王寺遺跡・中居遺跡・堀田遺跡の 3 遺跡から構成される。このうち本遺跡は、北日本における縄文時代前・中期を代表する円筒式土器の標式遺跡の一つであり、前期の円筒下層式と中期の円筒上層式が初めて層位的に確認された遺跡として知られている。

八戸市教育委員会では、平成 29 年度に本遺跡の中心部とみられる遺跡南側の約 33,000 m²を対象として、一王寺遺跡内容確認調査計画を策定した。当初計 6 箇年の計画を予定していたが、当初計画に遅れが生じたため、出土遺物の整理を含めた

計 10 箇年計画とする見直しを行った。調査はこれまで令和元～4 年度に実施しており、今回は 5 年目の調査である。

これまでの調査でトレンチが設定されていない空白地帯の遺構分布を確認することを主な目的として調査区を設定した。調査対象範囲の北端に位置する是川遺跡記念碑へ至る道路沿いに 7 箇所、南端に位置する遺跡の中心部から寺ノ沢に向かう斜面地に 10 箇所の計 17 箇所のトレンチを設定して調査を行った。

調査の結果、寺ノ沢に向かう斜面地で縄文時代前期中葉から中期中葉の多量の遺物を含む盛土遺構を検出し、その下位に前期中葉から後葉の竪穴建物跡が存在していること確認した。

また、中期後葉の竪穴建物を構築する際に、広範囲にわたる地形改変が行われていることがわかった。

今年度の調査成果の概要をまとめた『八戸市埋蔵文化財調査報告書第 191 集 史跡是川石器時代遺跡 一王寺遺跡内容確認調査概要報告書』を刊行した。

また、今年度の調査成果の詳細については、令和元～4・7 年度の 5 箇年分の調査成果をひとつにまとめた発掘調査報告書を刊行する予定である。



調査区全体の様子



調査区北側のトレンチ



調査区南側のトレンチ



発掘調査の様子

VI 管理運営概要

1. 協議会等

(1) 令和 7 年度是川縄文館運営協議会

期日 【第 1 回】令和 7 年 6 月 26 日

【第 2 回】令和 8 年 2 月 17 日

会場 是川縄文館 2 階研修室

委員 山下治子(会長)、北野博司(副会長)、菅原弘樹、清水輝大、今井崇雄、豊巻裕史

概要 是川縄文館の運営や事業について、文化財・教育普及・博物館経営・広報等の専門的見地から評価・助言を得るための協議会。令和 7 年度は委員退任に伴う後任の委員に委嘱を行い、新たな委員 2 名を含む 6 名で開催した。第 1 回では、令和 6 年度事業報告を行った。第 2 回は令和 8 年度事業計画の説明を行った。併せて令和 7 年 12 月に発生した地震被害の報告と現地視察も実施した。



運営協議会

(2) 史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会

期日 【第 17 回】令和 7 年 9 月 26 日

【第 18 回】令和 7 年 12 月 23 日

会場 是川縄文館 1 階会議室

委員 岡村道雄(会長)、高田和徳(副会長)、馬場光久、吉川昌伸、*オブザーバー：青森県教育委員会文化財保護課、文化庁文化資源活用課

概要 史跡是川石器時代遺跡の整備事業について、基本方針、計画、内容等を定めることを目的に有識者による検討を行う委員会。令和 7 年度は南工区遺構復元・植栽と北工区地形復元についての整備実施設計(その 2)策定にかかる検討を行った。第 17 回では南工区遺構復元・園路整備と北工区地形造成設計、南工区植栽設計についての検討を行った。政策決定に係る内容を含むため、会議は非公開とした。

(3) 令和 7 年度是川縄文館懇談会

期日 令和 8 年 3 月 14 日

会場 是川縄文館 1 階会議室

出席者 中居町内会 田中町内会 風張町内会

是川地区振興会 八戸縄文保存協会

縄文是川ボランティア 是川縄文館職員

概要 是川縄文館の近隣町内会及び支援団体から館の運営について助言・連携等を得るための会合。令和 7 年度の事業報告、令和 8 年度の事業計画等の説明をもとに連携の進め方について協議した。出席者からは、史跡整備の進捗の周知や周年事業についての意見などが出された。



是川縄文館懇談会

2. 日記抄

月/日	事項
4/4	ボランティア激励セレモニー (16 人) 取材: NHK (1 人) / (株)東奥日報 (1 人) 見学: 八戸市人事課 (47 人)
4/8	見学: しまもり第 4 区高齢者サロン (12 人)
4/9	見学: (公財) 日本生態系協会 (2 人)
4/10	見学: (株)ウオーターアンドライフ社 (3 人)
4/12	ボランティア総会 (22 人)
4/15	見学: デイサービスふきのとう (25 人)
4/18	見学: 国際ソロプチミスト山形 (6 人)
4/20	見学: 工房草來舎 (2 人)
4/23	縄文土器野焼き (6 人) 於本館 取材: (株)河北新報社 (1 人) 視察: 八戸市水産事務所 (14 人)
4/24	貝拾い・貝輪作りリハーサル (10 人)
4/25	春季企画展内覧会: ボランティア (17 人) / 東奥日報八戸支社 (1 人) / 読売新聞八戸支社 (1 人)
4/26	春季企画展ギャラリートーク (9 人) 取材: (株)デーリー東北新聞社 (1 人)
5/2	縄文土器作り・見学: 階上町立石鉢小学校 6 学年 (40 人)
5/3	滑石でペンダント作り教室 (14 人) 春季企画展ギャラリートーク (19 人) 見学: 個人 (1 人)
5/4	見学: クラブツーリズム(株) (17 人) / 個人 (1 人)
5/5	掘り day はちのへ 発掘体験 (88 人)
5/6	見学: 個人 (2 人)
5/8	縄文土器野焼き (19 人) 於本館 見学: (株)WAA (2 人)
5/9	見学: クラブツーリズム(株) (29 人)
5/10	特別展プレ企画・考古学講座① (47 人)
5/11	見学: 岩手県立久慈病院労働組合 (13 人)
5/13	見学: クラブツーリズム(株) (28 人)
5/15	見学: クラブツーリズム(株) (16 人) / 八戸市立鯨中学校 1 学年 (11 人) 八戸縄文保存協会役員会 (12 人) / 八戸縄文保存協会定期総会 (20 人)
5/16	見学: クラブツーリズム(株) (45 人) / 日本水道協会青森県支部 (33 人)
5/17	バックヤード見学 (32 人) サポートスタッフ研修会① (23 人) 見学: クラブツーリズム(株) (46 人) / 個人 (2 人)
5/18	見学: (株)読売旅行 (35 人)
5/20	見学: 個人 (5 人)
5/21	見学: クラブツーリズム(株) (23 人)
5/24	これかわ考古学クラブ開講式 (5 人) / (株)デーリー東北新聞社 (1 人) / 東奥日報八戸支社 (1 人) 春季企画展ギャラリートーク (2 人) サポートスタッフ研修会② (24 人)
5/25	見学: クラブツーリズム(株) (18 人) / 漆に関する研修会 (18 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人) / 個人 (14 人)
5/27	見学: 個人 (4 人)
5/28	見学: クラブツーリズム(株) (32 人) 縄文土器作り・見学: 五戸町立倉石中学校 1 学年 (11 人)
5/30	見学: クラブツーリズム(株) (28 人) / ハヶ岳 jomon 楽会 (30 人)
5/31	見学: (株)ユーラシア旅行社 (11 人) / 青森観光バス (2 人) サポートスタッフ研修会③ (13 人)
6/1	見学: 健康づくり隊 (32 人) / 国連青森支部 (11 人)
6/3	見学: クラブツーリズム(株) (26 人) / 個人 (3 人)
6/5	見学: 日新航空サービス(株) (16 人) / 総合地球環境学研究所 (3 人)
6/6	見学: 一戸町奥中山地区センター (20 人)
6/7	これかわ考古学クラブ① (6 人) サポートスタッフ研修会④ (21 人) 見学: クラブツーリズム(株) (20 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人)
6/10	見学: 県女性部交流会 (77 人) / クラブツーリズム(株) (27 人) 視察: 青森県庁総合政策課 (19 人)
6/11	縄文土偶作り・見学: 私立向陵高等学校 (31 人) 見学: 青森県立八戸聾学校 6 学年 (4 人) / 食の学校 (14 人)
6/12	滑石の勾玉作り・火起こし体験・見学: 個人 (3 名) 見学: 七戸高等学校 (41 人) 撮影: 写真のオクヤマ (1 人) 下見: 青森県立八戸中央高等学校 (2 人)
6/13	見学: 白山台公民館 (23 人) / 八戸市立町畑小学校 5 学年 (5 人) / 八戸縄文保存協会 (1 名) / 青森県教育厚生会退職互助部東青支部文化史跡探訪クラブ (18 人)
6/14	春季企画展ギャラリートーク (3 人) 特別展プレ企画・考古学講座② (41 人) 見学: クラブツーリズム(株) (20 人) / 個人 (2 人) / (株)たびせん・つなぐ (16 人)
6/17	見学: クラブツーリズム(株) (22 人) / 個人 (2 人)
6/18	滑石の勾玉作り・見学: 独立行政法人国立病院機構 八戸病院 (7 人)
6/19	見学: 認定こども園マリアンハウス幼稚園 (18 人) / なでしこクラブ (33 人)

月/日	事項	
6/20	見学：クラブツーリズム(株) (29 人)/ 独立 行政法人 国立高等専門学校機構 八戸工業 高等専門学校 (17 人)	7/18 見学：伝法寺高砂会 (12 人)/ENEOS (株) (4 人)
6/21	サポートスタッフ研修会⑤ (19 人)	7/19 シカの角でペンダント作り教室 (12 人) 夏季特別展ギャラリートーク (5 人)
6/22	見学：弘前大学青森エスカレーション (9 人)/ ガイドイキタビ (11 人)/ 個人 (4 人)	7/20 (出前) 土偶メガネ作り：こどもはっち夏 祭り (145 人) 於ポータルミュージアム はっち 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
6/24	縄文土偶作り：鷗盟大学① (38 人) 見学：クラブツーリズム(株) (22 人) 第 2 回消防訓練	7/21 拾ってつくる 貝がらアクセサリー (17 人) 於三沢市
6/25	縄文土器野焼き (22 人) 於本館 見学：個人 (1 人)	7/22 滑石の勾玉作り・見学：八戸市立吹上小 学校 6 学年 (78 人)
6/26	見学：クラブツーリズム(株) (19 人) 令和 7 年度是川縄文館運営協議会	7/23 火起こし・見学：認定こども園南売市保 育園 (28 人)
6/28	見学：日本修学旅行協会 (3 人)/ 個人 (2 人)	7/24 縄文土器作り・見学：八戸市立島守小学 校 5・6 学年 (10 人) 見学：個人 (2 人) 視察：南部町教育委員会 (3 人)
6/29	見学：株式会社さくら TSY (16 人)/ 個人 (3 人)	7/25 見学：川原町老人クラブ (16 人) 下見：むつ市立田名部中学校 (1 人)
7/1	見学：クラブツーリズム(株) (11 人)/ 縄文 保存協会 (1 人)/ 個人 (1 人) 取材：八戸市 (4 名)	7/26 夏季特別展ギャラリートーク (2 人) 縄文土偶作り：八戸市中学校合同部活動 (14 人)
7/2	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)	7/27 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
7/3	滑石の勾玉作り・見学：八戸市立三条小 学校 6 学年 (54 人) 撮影：(株)グランフォート (1 人)	7/30 見学：文教大学 (1 人)/ 個人 (1 人)
7/4	滑石の勾玉作り・見学：五戸町立上市川 小学校 5・6 学年 (30 人)	7/31 見学：個人 (6 人)
7/5	特別展プレ企画・考古学講座③ (45 人) 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)	8/1 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
7/8	縄文土偶作り：鷗盟大学② (34 人) 滑石の勾玉作り・見学：田子町立田子小 学校 6 学年 (25 人)	8/2 これかわ考古学クラブ② (8 人) 夏季特別展ギャラリートーク (2 人) 見学：個人 (7 人)
7/9	見学：個人 (7 人)	8/3 見学：南部藩ゆかりの都市との交流事業 (36 人)/ (株)エイトドアツアー (30 人)/ 八 戸縄文保存協会 (1 人)/ 個人 (2 人)
7/10	縄文土器作り：吹上コープ委員会 (15 人) 入館者 40 万人達成セレモニー 取材：(株)デーリー東北新聞社 / (株)東奥日報 社 / 青森放送(株) 見学：個人 (1 人)	8/4 見学：きものビューティーファンタジー 青森 (5 人)
7/11	見学：クラブツーリズム(株) (22 人) 特別展内覧会：ボランティア (16 人)/ (株) 東奥日報社 (1 人)/ (株)朝日新聞社八戸支 局 (1 人)	8/5 八戸の漁業のいまを知ろう！おさかな学 習会 (30 人) 滑石の勾玉作り・見学：放課後等デイサ ービスキャンパス (16 人) 見学：船橋市スポーツと健康を推進する 会 (2 人)/ 明治神宮 (2 人)/ 八戸市水産事 務所 (3 人)/ (株)三越伊勢丹ニッコウトラベ ル (15 人)/ (株)朝日新聞社 (1 人) 下見：青森県立八戸盲学校・青森県立八 戸聾学校 (2 人)
7/12	夏季特別展ギャラリートーク (6 人) 取材：(株)デーリー東北新聞社 見学：個人 (1 人)	8/6 滑石の勾玉作り・見学：みつは会 みど りのかぜ グループ (80 人) 見学：認定こども園 こもれびの森幼稚 園 (51 人)/ (株)ちゃんこえ (2 人)
7/15	見学：クラブツーリズム(株) (20 人)/ JTB ガイアレック (13 人)	8/7 土製耳飾り作り・見学：NPO 法人放射線 測定室アスナロ (25 人)
7/16	見学：おいらせ町立下田小学校 6 学年 (14 人)	
7/17	滑石の勾玉作り・見学：十和田地区幼少 年婦人防火委員会 (6 人) 見学：弘前市裾野地区町会連合会 (10 人) 視察：秋田県鹿角地域振興局 (4 人)	

月/日 事項

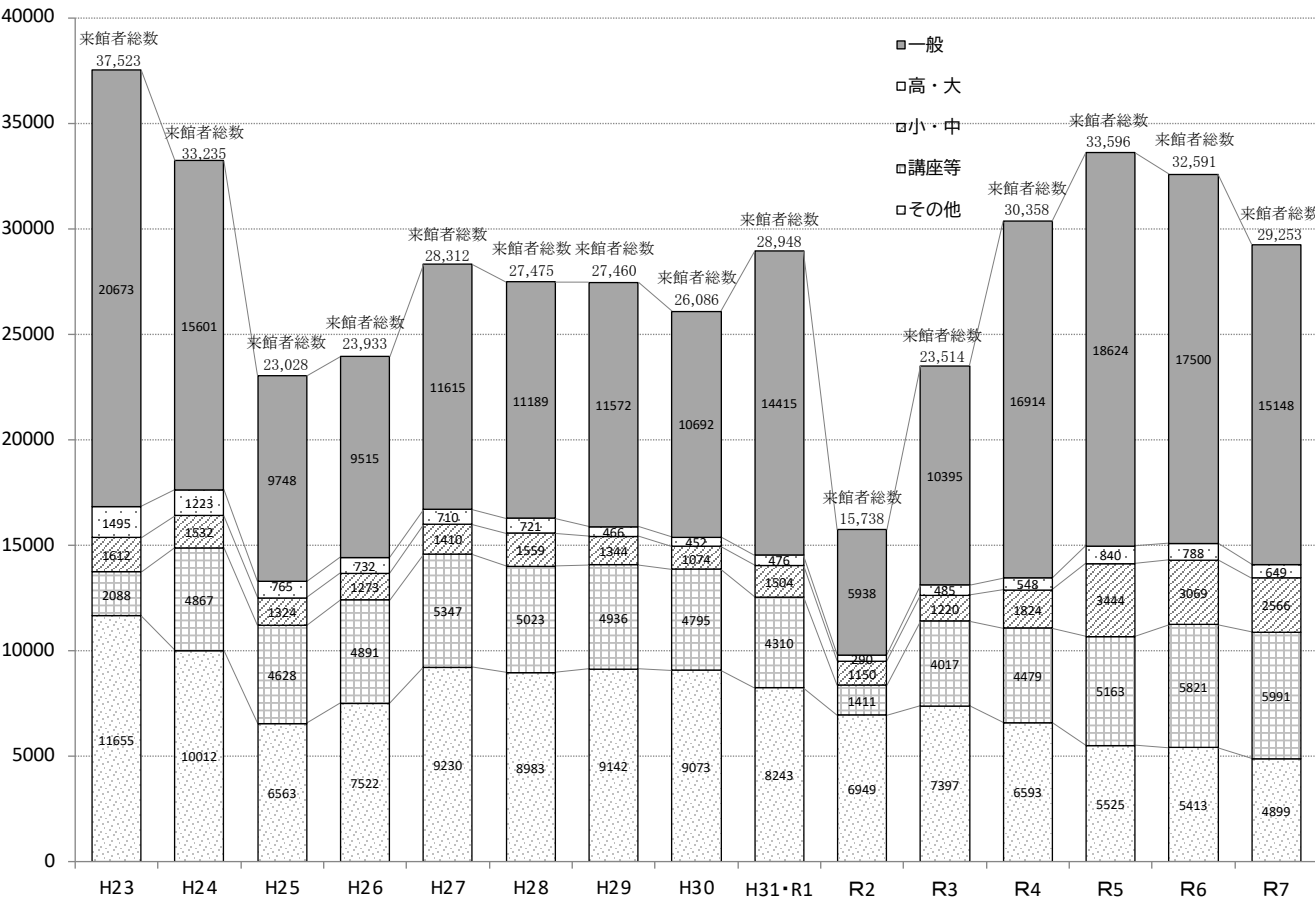
- 秋季企画展内覧会：ボランティア (15 人) / (株)デーリー東北新聞社 (1 人) / (株)東奥日報八戸支社 (1 人) / (株)朝日新聞社八戸支局 (1 人)
- 10/4 これかわ考古学クラブ③ (7 人)
秋季企画展ギャラリートーク (9 人)
見学：個人 (2 人)
- 10/5 見学：青森県立八戸商業高等学校 2 学年 (3 人) / JTB (15 人)
- 10/7 見学：クラブツーリズム(株) (31 人)
取材：RAB 企画 (8 人)
- 10/8 ボランティアカシュ塗り (16 人)
- 10/9 見学：大館市立田代公民館 (28 人)
- 10/10 見学：藤根大学・藤根自治振興会 (57 人) / (株)トリアド工房 (4 人) / 個人 (4 人)
- 10/11 縄文土器作り講座① (17 人)
秋季企画展ギャラリートーク (8 人)
- 10/13 見学：郵便局長会夫人会九戸部会 (14 人)
- 10/15 火起こし体験・見学：学校法人正栄学園
みどり幼稚園 (16 人)
見学：(株) fool (1 人)
- 10/16 土製耳飾り作り：八戸市立是川小学校 1 学年 (16 人)
見学：岩手県交通(株) (26 人)
- 10/17 見学：(有)ちいろば企画 (18 人)
- 10/18 縄文土器作り講座② (13 人)
秋季企画展ギャラリートーク (6 人)
一王寺遺跡現地説明会 (55 人)
- 10/21 見学：クラブツーリズム(株) (22 人)
- 10/22 縄文土器野焼き (19 人) 於本館
- 10/23 取材：NHK (1 人)
- 10/24 (出前) 縄文土器野焼き (56 人) 於是川中学校
見学：野辺地金沢町長生会 (26 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人)
- 10/25 秋季企画展ギャラリートーク (7 人)
- 10/28 見学：おしこみさくら会 (21 人) / 秋堂いきいきサロン (28 人)
- 10/29 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
- 10/30 滑石の勾玉作り・見学：八戸市立大久喜小学校 3・4・5・6 学年 (9 人)
見学：海上自衛隊八戸航空基地 (21 人)
- 10/31 縄文土器作り・火起こし体験・見学：八戸市立明治中学校 1 学年 (12 人)
見学：風雅旅行社 (3 人)
- 11/1 秋季企画展ギャラリートーク (8 人)
企画展考古学講座 (46 人)
- 11/2 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
- 11/3 是川縄文の日 (824 人)
取材：(株) NHK エンタープライズ東北支社 (1 人) / (株)デーリー東北新聞社 (1 人) / 東奥日報社(株)八戸支社 (1 人) / (株)青森テレビ (1 人)
- 11/5 見学：三陸観光 (31 人) / 平内ふれあいサロンコスモス会 (16 人) / 男鹿市民児協 (5 人)
取材：(株) NHK エンタープライズ東北支社 (1 人)
- 11/6 見学：八戸市立東中学校 1 学年 (5 人)
- 11/7 見学：五戸町立切谷内小学校 5・6 学年 (19 人) / クラブツーリズム (11 人) / 個人 (8 人)
視察：北海道渡島総合振興局 (3 人)
- 11/8 親子・小中学生向けギャラリートーク (4 人)
秋季企画展ギャラリートーク (1 人)
令和 7 年度八戸市遺跡調査報告会 (40 人)
取材：(株)デーリー東北新聞社 (1 人) / 東奥日報社(株)八戸支社 (1 人)
見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
下見：東武トップツアーズ株式会社 (1 人)
- 11/9 見学：名鉄観光サービス株式会社 (23 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人)
- 11/11 見学：遠野地域水稻生産部会 (16 人)
- 11/12 出前講座：「是川石器時代遺跡と世界遺産」 (11 人) 於根岸公民館
見学：みちのりトラベル東北 (12 人) / タウンツアーズ藤岡店 (9 人) / 個人 (2 人)
- 11/13 見学：九州古代史の会 (7 人)
視察：(一財) VISIT はちのへ (7 人)
- 11/14 出前講座：「世界遺産について」 (32 人) 於三本木農業恵拓高校
見学：大日本書芸院 (5 人) / 東武トップツアーズ(株) (15 人) / クラブツーリズム(株) (25 人) / 縄文是川ボランティア (1 人)
- 11/15 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
研修：五所川原市統計協会 (15 人)
令和 7 年度青森県考古学会秋季大会
秋季企画展ギャラリートーク (5 人)
- 11/16 第 10 回是川縄文の里俳句大会表彰式 (27 人)
取材：東奥日報社(株)八戸支社 (1 人) / デーリー東北新聞社(株) (1 人)
見学：(株)読売旅行 (39 人) / 八戸縄文保存協会 (1 人)
- 11/18 滑石の勾玉作り・見学：八戸市立長者小学校 6 学年 (61 人)
撮影：(株)グランフォート (1 人)
- 11/21 滑石の勾玉作り・見学：八戸市立根城小学校 6 学年 (74 人)
撮影：(有)スタジオ大島 (1 人)
見学：八戸市立桔梗野小学校 5 学年 (7 人)
取材：(株) NHK エンタープライズ東北支社 (4 人)
- 11/22 木の実で縄文クッキング (2 人)
秋季企画展ギャラリートーク (5 人)

月/日 事項

11/23	見学：遠堀太陽建設事務所 (2 人)	1/31	サポートスタッフ研修会② (23 人)
11/24	秋季企画展トークイベント		
11/27	縄文土器作り・見学：八戸市立南郷小学校 6 学年 (22 人) 見学：八戸市立是川小学校 6 学年 (30 人)/ 八戸縄文保存協会 (1 人)/ 個人 (1 人) 取材：東奥日報社 (1 人)	2/6	滑石の勾玉作り・見学：八戸市立田面木小学校 6 学年 (37 人) 見学：蓬田村議会 (6 人)
11/28	見学：八戸市立第一中学校 1 学年 (11 人)/ 特定第三種漁港都市等・全国主要水産都市商工会議所連絡協議会 (23 人)	2/7	これかわ考古学クラブ修了式 (3 人) サポートスタッフ研修会③ (22 人)
11/29	講話：令和 7 年度面接授業放送大学 (30 人) 講師：当館学芸員 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)	2/11	見学：個人 (4 人) ミニチュア土器作り (12 人)
11/30	縄文土器作り・講話：令和 7 年度面接授業放送大学 (30 人) 講師：当館学芸員 見学：平岡町会 (25 人)/ 個人 (1 人)	2/14	後期考古学講座③ (69 人)
12/2	見学：(有)北日本ツーリスト (15 人)	2/17	見学：個人 (4 人)
12/5	縄文学習 (ガイド：南部町立名川小学校 6 学年対象)：八戸市立是川小学校 6 学年 (34 人) 滑石の勾玉作り・見学：南部町立名川小学校 6 学年 (48 人) 撮影：(株)グランフォート (1 人)	2/18	見学：JTB (8 人)、八戸縄文保存協会 (1 人)
12/6	これかわ考古学クラブ④ (9 人) 見学：梅内文館 (10 人)	2/20	縄文土器作り・見学：個人 (2 人) 見学：(有)北日本ツーリスト (15 人)/(一社) 日本イコモス国内委員会事務局 (1 人)/ 八戸市産業労政課 (8 人)/ 個人 (2 人)
12/7	出前講座：「出張！縄文遺跡」(45 人) 於じょもじょも	2/21	サポートスタッフ研修会④ (26 人) 見学：秋北航空サービス(株) (11 人)/ 個人 (5 人)
12/13	後期考古学講座① (59 人) 見学：八戸縄文保存協会 (1 人)	2/22	(出前) 第 21 回はちのへこどもフェスタ (93 人) 於：八戸市公民館 ミニチュア土器作り (7 人) えんぶり鑑賞会 (304 人) 見学：八戸縄文保存協会 (4 人)
12/16	見学：個人 (3 人)	2/27	取材：NHK (3 人)
12/17	視察：北秋田市議会 (7 人)	2/28	サポートスタッフ研修会⑤ (23 人) 見学：(株)ピコ (3 人)/ 八戸縄文保存協会 (1 人)
12/20	滑石の勾玉作り・見学：学童保育きくよしスクール (24 人)		
12/23	第 18 回八戸市史跡是川石器時代遺跡整備検討委員会	3/4	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
12/26	見学：(株)エムエスケー (9 人)/ トータルメディア (2 名)	3/7	縄文土偶作り教室 (24 人)
1/9	冬季企画展内覧会：ボランティア (21 人)/ (株)デーリー東北新聞社 (1 人)/ (株)東奥日報社 (1 人)	3/10	見学：八戸市立是川小学校 5・6 学年 (55 人)
1/10	琥珀の勾玉作り・火起こし体験・見学：(株)テクトリー (13 人) 取材：青森県立商業高等学校 2 学年 (4 人)	3/14	火起こし体験・見学：きくよし学童保育 (16 人) 是川縄文館懇談会 (6 人)
1/17	後期考古学講座② (43 人) 見学：八戸縄文保存協会 (2 人)	3/21	視察：札幌市議会 (1 人)
1/21	取材：(一財)VISIT はちのへ (2 人)	3/22	見学：八戸縄文保存協会 (1 人)
1/23	見学：日本文教 (2 人)	3/25	ボランティア懇談会 (20 人)
1/24	見学：八戸縄文保存協会 (1 人) サポートスタッフ研修会① (15 人)	3/26	視察：横手市教育委員会 (3 人)
1/25	見学：個人 (1 人)/ 八戸縄文保存協会 (2 人)	3/29	見学：つたいツーリスト (20 人)
1/28	取材：(株)青森テレビ (2 人)		

3. 来館者利用状況

月	個人			団体			減免入館者					有 料	全額免除	講座等	本館総	開館	平 均
	一般	大・高	計	一般	大・高	計	障がい	介護	高齢	優待	計	観覧者	観覧者	入館者	入館者	日数	入館者
4 月	1,021	26	1,047	25	0	25	21	21	62	7	111	1,183	191	282	1,656	27	61
5 月	1,774	43	1,817	270	0	270	32	21	46	32	131	2,218	403	625	3,246	27	120
6 月	1,319	42	1,361	277	37	314	23	21	79	29	152	1,827	366	438	2,631	25	105
7 月	1,423	47	1,470	42	0	42	30	24	58	13	125	1,637	554	467	2,658	30	89
8 月	2,224	193	2,417	113	0	113	41	33	84	22	180	2,710	1,526	1,222	5,458	30	182
9 月	1,097	68	1,165	135		135	24	20	31	12	87	1,387	660	394	2,441	25	98
10 月	1,479	39	1,518	291	0	291	28	24	59	16	127	1,936	340	446	2,722	27	101
11 月	1,183	35	1,218	162	0	162	26	16	64	37	143	1,523	1,464	495	3,482	26	134
12 月	397	13	410	0	0	0	7	6	7	28	48	458	157	244	859	22	39
1 月	412	19	431	0	0	0	7	4	16	13	40	471	80	348	899	23	39
2 月	623	39	662	0	0	0	14	9	32	12	67	729	198	712	1,639	23	71
3 月	881	48	929	0	0	0	12	10	28	7	57	986	258	318	1,562	26	60
計	13,833	612	14,445	1,315	37	1,352	265	209	566	228	1,268	17,065	6,197	5,991	29,253	311	94



本館における過去 15 年間の来館者数の推移
※ H24 から講座等入館者にボランティアを含む。

4. 小中学校利用状況

学校利用 1,097 人 市内 857 人（小学校 14 校 702 人 中学校 8 校 155 人）※詳細は下表
市外 240 人
個人利用 1,632 人 市内 661 人（小学校 562 人 中学校 99 人）
市外 971 人（小学校 741 人 中学校 230 人）
総計 2,729 人

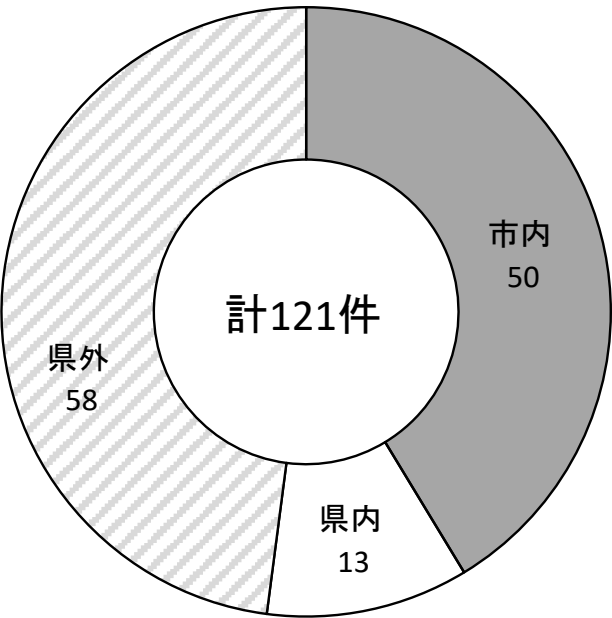
市内小中学校利用実績 ※各団体来館者のうち児童・生徒の数を記載する。

入館日	学校名	内容	人数	入館日	学校名	内容	人数
5/15	八戸市立鯉中学校 1 学年	見学	11	10/1	青森県立八戸盲学校・八戸聾学校小学部 3～6 学年・中学部 1・2 学年	見学・体験	11
6/11	青森県立八戸聾学校 6 学年	見学	3	10/3	八戸市立是川小学校 3 学年	見学・体験	16
6/13	八戸市立町畑小学校 5 学年	見学	4	10/16	八戸市立是川小学校 1 学年	体験	12
7/3	八戸市立三条小学校 6 学年	見学・体験	51	10/24	八戸市立是川中学校 1～3 学年	出前体験	56
7/22	八戸市立吹上小学校 6 学年	見学・体験	71	10/30	八戸市立大久喜小学校 3～6 学年	見学・体験	7
7/24	八戸市立島守小学校 5・6 学年	見学・体験	9	10/31	八戸市立明治中学校 1 学年	見学・体験	10
7/26	八戸市中学校合同部活動 (4 校 1～3 学年)	体験	13	11/6	八戸市立東中学校 1 学年	見学	4
8/15	八戸市立第二中学校 1 学年	見学	4	11/18	八戸市立長者小学校 6 学年	体験	57
9/2	八戸市立是川小学校 6 学年	見学・体験	33	11/21	八戸市立根城小学校 6 学年	見学・体験	70
9/4	八戸市立是川小学校 4 学年	見学・体験	19	11/21	八戸市立桔梗野小学校 5 学年	見学	5
9/5	八戸市立江陽中学校 1 学年	見学	35	11/27	八戸市立是川小学校 6 学年	見学	28
9/9	八戸市立是川小学校 5 学年	見学・体験	22	11/27	八戸市立南郷小学校 6 学年	見学・体験	20
9/14	八戸市立是川中学校 1・2 学年	見学・体験	6	11/28	八戸市立第一中学校 1 学年	見学	10
9/18	八戸市立是川小学校 3 学年	見学	16	12/5	八戸市立是川小学校 6 学年	見学	31
9/19	八戸市立城下小学校 6 学年	見学・体験	39	2/6	八戸市立田面木小学校 6 学年	見学・体験	35
9/25	八戸市立柏崎小学校 6 学年	見学・体験	84	3/10	八戸市立是川小学校 5・6 学年	ガイド体験	50
9/30	八戸市立是川小学校 2 学年	体験	15				

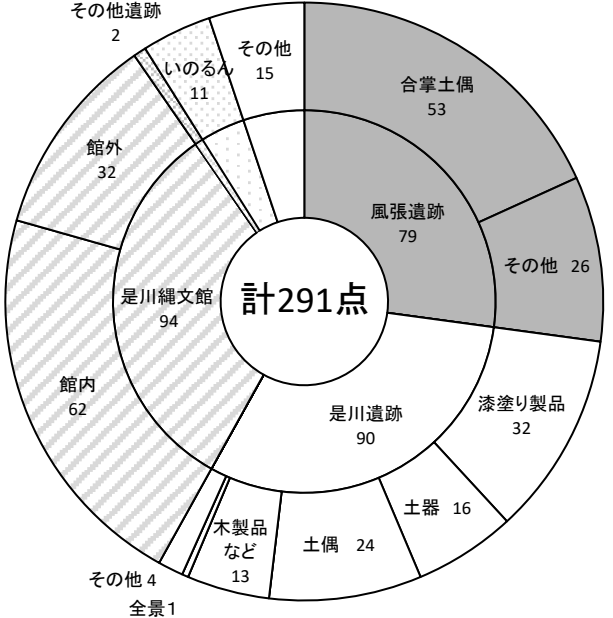
5. 資料利用状況

(1) 画像資料

令和7年度は、申請数 121 件、合計 291 点の利用申請があった。前年と比べ件数、点数ともに増加した。今年度の申請者は県外が最多となった。利用目的では、書籍等への掲載のほか、テレビ番組利用や個人の SNS への掲載等がある。また、世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」HP 内、縄文アーカイブからの画像利用は 8 件あった。



映像資料利用依頼先内訳



資料利用種別内訳

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
1	サンセキュリティ㈱	いのるん	1	写真貸与	4/4	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館受付等業務委託（名札）
2	指宿市考古博物館時遊館 COCCO はしむれ	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	4/9	「はしむれこどもフェスティバル」発掘調査模擬体験のミニチュア品作成に使用するため
3	㈱世界文化社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	4	写真貸与	4/15	書籍『増補改訂版 はじめての土偶』に掲載するため
4	㈱オフィス・シュー	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	13	写真貸与	4/16	全日本ロータス同友会 公式ホームページ『ロータスタウン・ロータスな旅』に掲載するため
5	㈱ NHK エデュケーショナル	是川中居遺跡 遮光器土偶	1	動画使用	4/16	NHK 高校講座日本史「第 1 回原始社会の生活と文化」
6	社会福祉法人青森県共同募金会八戸市共同募金委員会	いのるん	1	写真貸与	4/17	市町村共同募金委員会オリジナル資料作成事業（ピンバッチ）
7	個人	常設展示室及び展示品	2	写真使用	4/22	『俳句四季』に吟行記を掲載するため
8	河北新報青森総局	縄文土器野焼きの様子	1	写真撮影	4/23	河北新報紙面に掲載するため
9	八戸市水産科学館マリエント	是川縄文館題字	1	写真貸与	4/24	是川石器時代遺跡に関する研究発表およびマリエント「ちきゅう」たんけんクラブ活動紹介（論文、発表ポスター、パワーポイントデータ）
10	デーリー東北新聞社	企画展示室及び展示品	1	写真撮影	4/26	新聞掲載
11	カメラのコーエン	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・動画撮影	5/2	卒業アルバム、記念 DVD 撮影
12	七崎神社保存『永久の会』	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	3	写真貸与	5/5	クラウドファンディング「「創建 1200 年記念祭」の幕開け！七崎神社と地域未来再生プロジェクト」へ掲載
13	七崎神社保存『永久の会』	いのるん	1	写真貸与	5/5	クラウドファンディング「「創建 1200 年記念祭」の幕開け！七崎神社と地域未来再生プロジェクト」へ掲載
14	個人	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	5/5	YouTube 番組「History of Japan（英語版）」
15	東北放送㈱	是川中居遺跡 壺形土器ほか	21	写真貸与	5/8	特別展「世界遺産 縄文」開催に伴う広報材（チラシ・ポスター・HP・SNS・新聞・テレビなど）、展示図録、展示パネル等への掲載使用のため
16	縄文遺跡群世界遺産事務局	土製耳飾り作り体験見本ほか	2	写真貸与	5/21	「北海道・北東北の縄文遺跡群まるごとナビ 2025」に掲載するため
17	個人	常設展示室及び展示品	2	写真撮影	5/24	インスタグラム

令和 7 年度資料利用依頼一覧（1）

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
18	(一社)縄文文化発信会議	合掌土偶出土状況ほか	3	写真貸与	5/31	シンポジウム「えっ！縄文ってこんなにすごいのか！Ⅱ」放映動画に使用
19	宮古市教育委員会	是川中居遺跡 漆塗り弓出土状況	1	写真貸与	5/31	第 29 回企画展の図録及び写真パネルに使用するため
20	(公財)鹿嶋市文化スポーツ振興事業団	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	6/3	鹿嶋市ときどきセンター企画展「Jomon Collection-縄文時代の豊かな鹿嶋-」展示パネルに使用するため
21	㈱国書刊行会	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	20	写真貸与	6/4	『1000 の縄文』（仮題）に掲載するため
22	㈱アフロ	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	6/4	㈱日能研発行の小学 5 年生を対象とした塾用教材に掲載のため
23	東北放送㈱	是川中居遺跡 掘り棒出土状況ほか	3	写真貸与	6/10	特別展「世界遺産 縄文」開催に伴う広報材（チラシ・ポスター・HP・SNS・新聞・テレビなど）、展示図録、展示パネル等への掲載使用のため
24	福島市	風張 1 遺跡 類杖土偶	1	写真貸与	6/11	宮城遺跡史跡公園じょうもびあ宮城ガイダンス施設内常設展示
25	写真のオクヤマ	常設展示室及び展示品	2	写真撮影	6/12	卒業アルバムへ使用するため
26	マリアンハウス幼稚園	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・動画撮影	6/19	卒業アルバムへ使用するため
27	八戸市立市川公民館	いのるん	1	写真貸与	6/21	市川公民館広報「ふれあい」市川公民館歴史講座チラシ・ポスターに掲載するため
28	石狩市教育委員会	是川中居遺跡 弓集合写真ほか	7	写真貸与	6/21	新市指定文化財特別展「紅葉山 33 号遺跡出土の漆塗り弓（文様入り）」の展示に使用するため
29	㈱山川出版社	風張 1 遺跡 深鉢形土器	1	写真貸与	6/21	書籍『日・英 くらべて読める 山川日本史（全 5 巻）』①原始・古代 The Primeval & Ancient Era
30	一戸町教育委員会	山井遺跡 CT 写真ほか	6	写真貸与	6/28	令和 6 年度一戸町文化財年報（令和 7 年度 9 月 12 日刊行予定）に掲載するため
31	八戸市	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	7/1	八戸市の広報利用
32	㈱グランフォート	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	7/3	卒業アルバム
33	青森県観光国際交流機構	いのるん	1	写真貸与	7/7	アスバム machicotaba「JOMON MARCHE」イベント広告チラシ・SNS・HP
34	デーリー東北新聞社	企画展示品及び展示室	1	写真撮影	7/12	デーリー東北新聞紙面への掲載
35	㈱青土社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	7/22	書籍『渦巻の芸術人類学 死と再生のスパイラル』に掲載するため
36	㈱スタジオ大島	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・動画撮影	7/22	卒業アルバム
37	個人	林ノ前遺跡 全景ほか	2	写真貸与	7/24	樋口知志先生退官記念講演会開催の告知用チラシ（Web 用）に使用するため
38	㈱アール・エー・ピーサービス	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	7/24	北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録 4 周年イベント「あおもり JOMON 世界遺産フェスタ」内アトラクションに使用するため
39	青森県立八戸盲学校・八戸聾学校	常設展示室及び展示品	1	写真撮影	8/5	校外学習の事前下見
40	サンセキュリティ㈱	是川縄文館外観ほか	2	写真撮影	8/6	Instagram へ掲載するため
41	こもれびのもり幼稚園	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	8/6	Instagram、フェイスブックへ掲載するため
42	八戸縄文保存協会	いのるん	1	写真貸与	8/16	三島シトロンは川縄文館限定ラベルに使用するため
43	赤尾三千子事務所	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	8/16	演奏会「横笛赤尾三千子の世界」パンフレットに掲載するため
44	八戸縄文保存協会	いのるん	1	写真貸与	8/17	こりかわ餅包装紙に使用するため
45	八戸市総合教育センター	常設展示室及び展示品	1	写真撮影	8/20	八戸市総合教育センターブログ掲載するため
46	㈱ユーメディア	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	8/27	観光情報サイト「more Tohoku」に掲載するため
47	個人	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	9/6	青い森説道沿線広報誌「あおつ日和」作成のため
48	一戸町教育委員会	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	9/9	御所野縄文博物館令和 7 年度ミニ企画展示「いちのへ土偶総選挙」結果発表の展示パネルに使用するため
49	八戸市立是川小学校	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	9/13	学習発表会
50	角川アスキー総合研究所	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	9/18	Web サイト「つなぐ旅」取材のため
51	㈱スタジオ大島	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	9/19	校外学習撮影のため
52	㈱アール・エー・ピー企画	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	9/19	番組「初耳@ AOMORI」撮影のため
53	㈱工作舎	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	9/22	書籍『地図で訪ねる歴史の舞台 日本』改訂 9 版に掲載するため
54	㈱ファンキー・コープ	是川石器時代遺跡 木胎漆器出土状況	1	写真貸与	9/2	「2025 年度国際園芸博覧会に向けた特設ページ制作事業」特設ページ内、漆関連紹介記事にて使用するため

令和 7 年度資料利用依頼一覧（2）

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
55	カメラのコーエン	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・動画撮影	9/25	校外学習撮影のため
56	青森県立八戸盲学校・八戸聾学校	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・動画撮影	10/1	「わくわくフルーツと縄文コース」学習の記録として使用
57	八戸商業高等学校	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	10/5	Web ページ作成のため（課題研究）
58	㈱ NHK プロモーション	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	2	写真貸与	10/7	展覧会「NHK 日曜美術館 50 年展」にて展覧会公式図録・展示時の参考図版として使用するため
59	㈱帝国書院	中居遺跡 石匙	1	写真貸与	10/7	高等学校地歴科 日本史探究 副教材『図説 日本史通覧』に掲載のため
60	㈱アール・エー・ビー企画	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	10/7	青森放送のテレビ番組「初耳@ AOMORI」撮影のため
61	個人	風張 1 遺跡 玉類	4	写真貸与	10/10	日本考古学協会 2025 年度新潟大会 第 1 分科会 ヒスイ原産地から見た縄文～古墳時代のヒスイの加熱処理と玉製作 「縄文時代後晩期におけるヒスイ製玉の製作」発表のため
62	個人	中居遺跡 勾玉ほか	5	写真貸与	10/10	「Landscape, Power and Ritual: Studies in East Asian Archaeology and History in Honour of Gina Lee Barnes (Queen Mother of the West) (Edited by Mark Hudson, Ilona Bausch, Junzo Uchiyama, Claudia Zancan and Simon Kaner)
63	㈱デーリー東北新聞社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10/15	2025 年 11 月 29 日（土）に八戸市公民館で開催する「androp 16th × The Daily Thoku 80th Special Anniversary Live at Hachinohe - Echo Chronicle -」のステージ演出映像内で、八戸市を象徴する文化遺産として紹介するため
64	㈱アール・エー・ビー企画	風張 1 遺跡 全景ほか	4	写真貸与	10/15	青森放送のテレビ番組「初耳 AOMORI」で使用するため
65	学校法人正学学園みどり幼稚園	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・動画撮影	10/15	卒園記念ビデオとアルバムのため
66	個人	是川中居遺跡 香炉形土器	2	写真撮影	10/16	卒業論文制作のため
67	㈱角川アスキー総合研究所	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	2	写真貸与	10/18	Web サイト「つなぐ旅」で使用するため
68	青森県立八戸東高等学校	いのるん	1	写真貸与	10/22	小中学生向けの是川縄文館 PR ポスターに使用するため
69	㈱講談社	いのるん	1	写真貸与	10/23	講談社の子育て・読書・情報サイト「コクリコ」ウェブ連載への掲載
70	NHK	企画展示室及び展示品ほか	2	動画撮影	10/23	ニュース取材（2025 年 10 月 24 日あつるワイド）
71	八戸市立根城中学校	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・動画撮影	10/26	地域貢献の授業に使用するため
73	千葉学園高等学校	是川中居遺跡 鉢形土器ほか	8	写真貸与	10/28	是川縄文の日イベントでの売り場の POP に使用するため
72	㈱ ABC アーク	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	10/29	2025 年 12 月 5 日発売、歴史人 1 月号『国宝の日本史』企画の資料写真として掲載予定
73	㈱ NHK エンタープライズ東北支社	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・動画撮影	11/3	NHK「あさいチ」内コーナー「愛でたい nippon」番組撮影のため（2025 年 12 月 18 日）
75	㈱ NHK エンタープライズ東北支社	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・動画撮影	11/3	NHK「あさいチ」内コーナー「愛でたい nippon」番組撮影のため（2025 年 12 月 18 日）
76	あおり縄文ステーションじょもじょも	是川石器時代遺跡 空撮ほか	9	写真貸与	11/13	あおり縄文ステーションじょもじょもで開催するイベントで是川石器時代遺跡を紹介するパネル作成のため
77	㈱育鵬社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11/18	書籍『日本の起源は日高見国にあった - 縄文・弥生時代の歴史的復元』に掲載するため
78	㈱グランフォート	常設展示室及び展示品	1	写真撮影	11/18	学校アルバム作成のため
79	㈱かみゆ	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	11/21	書籍『古代史』に掲載するため
80	㈱スタジオ大島	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	11/21	卒業アルバム用
81	㈱ NHK エンタープライズ東北支社	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・動画撮影	11/21	NHK「あさいチ」内コーナー「愛でたい nippon」番組撮影のため（2025 年 12 月 18 日）
82	板橋区立教育科学館	是川中居遺跡 遮光器土偶	4	写真貸与	11/22	ファーストレグリーグのプレゼンテーション資料とするため
83	東奥日報社	体験交流室	1	写真撮影	11/27	「東奥日報」掲載（2026 年 1 月 3 日発行予定）
84	デーリー東北新聞社	体験交流室	1	写真撮影	11/29	情報誌「シュシュ」掲載の放送大学有料広告の取材のため
85	個人	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12/2	もふもふ合掌土偶ボールチェーンつきマスコットに使用するため
86	㈱テイスト	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12/3	Prestreed Concrete 広報誌 PC プレスに掲載するため
87	愛知教育文化振興会	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	12/5	刊行物「社会の学習」に掲載するため
88	㈱グランフォート	常設展示室及び展示品ほか	2	写真撮影	12/5	卒業アルバム用
89	千葉学園高等学校	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	3	写真貸与	12/6	土偶練り切り商品販売の PR の POP に使用するため
90	山田設備機工㈱	いのるん	1	写真貸与	12/10	創業 60 周年記念式典の来賓者記念品として、プリントせんべいの製作に使用するため

令和 7 年度資料利用依頼一覧（3）

番号	申請者	資料名	点数	利用区分	許可日	掲載先
91	JTB ガイアレック	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	12/11	募集パンフレットおよび JTB ガイアレック HP に掲載
92	青森県立八戸中央高等学校	合掌土偶 出土状況ほか	4	写真貸与	12/18	「あおり創造学」の学習素材及び成果発表動画に使用するため
93	㈱ OpenDNA	中居遺跡 皿形土器	1	写真貸与	12/24	「日本文化紹介アプリ（仮）」に掲載するため
94	㈱ 淡交社	是川中居遺跡 藍胎漆器	1	写真貸与	12/26	書籍『「包む」の民俗学』（仮題）に掲載するため
95	㈱ KANADEL	是川中居遺跡 藍胎漆器	1	写真貸与	1/5	「ポプラメディアプラス 日本の伝統文化」に掲載するため
96	NHK	是川中居遺跡 遮光器土偶ほか	2	動画使用	1/5	NHK アカデミア番組内で使用するため
97	個人	常設展示室及び展示品ほか	2	動画撮影	1/6	YouTube 動画のため
98	個人	これかフェメニュー	1	写真撮影	1/10	授業で web ページを作成するため
99	(一社) 倫理研究所	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	2	写真貸与	1/14	倫理研究所発行 月刊誌『新世』4月号「新世言」に掲載するため
100	個人	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶 背面	1	写真貸与	1/15	グッズ制作のため
101	個人	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1/15	グッズ制作のため
102	㈱ 敬文舎	是川中居遺跡 漆入り土器	3	写真貸与	1/17	敬文舎刊〈ヒスカルセレクション〉シリーズ『縄文時代』に掲載するため
103	㈱ OpenDNA	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	1/17	「日本文化紹介アプリ（仮）」に掲載するため
104	(一財) VISIT はちのへ	常設展示室及び展示品ほか	2	写真・動画撮影	1/21	SNS 用撮影のため
105	北上市	中居遺跡 類遺賀川系土器	1	写真貸与	1/22	『新編北上市史 通史編 1 先史・古代・中世』に掲載するため
106	千葉学園高等学校	是川中居遺跡 鉢形土器	8	写真貸与	1/28	「まちづくりコンペティション」成果報告プレゼンテーション資料のため
107	青森テレビ	企画展示室及び展示品	1	動画撮影	1/28	「わっち !! ニュース」用撮影のため
108	学習院女子大学国際文化交流学部	企画展示室及び展示品	1	写真使用	2/14	学部案内パンフレットおよび学部紹介 HP に掲載するため
109	㈱ テレビ朝日	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	2	写真貸与	2/19	テレビ朝日番組「くりいむクイズ ミラクル 9」のクイズで出題
110	㈱ ジャパン通信情報センター	一王寺遺跡現地説明会写真	1	写真貸与	2/19	『文化財発掘出土情報』2026 年 3 月～4月号「各地の動向」に掲載するため
111	千葉学園高等学校	是川中居遺跡 鉢形土器ほか	8	写真貸与	2/25	Sbase 展示用 POP に使用するため
112	NHK	企画展示室及び展示品ほか	2	動画撮影	2/27	冬季企画展「是川遺跡のミニチュア製品」のニュース取材のため
113	小原流八戸支部	常設展示室及び展示品	1	動画撮影	3/1	小原流創流 70 周年記念特別講習会
114	シネマ・デ・アエルプロジェクト	是川縄文館外観ほか	2	写真貸与	3/5	フリーマガジン「三陸シネマジャーニー」スポット紹介および同 HP、SNS での施設紹介欄での使用
115	青森県立八戸東高等学校演劇部	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	5	写真貸与	3/15	演劇部自主公演のポスターおよびプログラム
116	個人	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶ほか	2	写真貸与	3/17	青森県地域縄文振興ステッカーへの裏面説明の継続使用
117	クラブツーリズム㈱ カルチャー旅行センター	是川中居遺跡 土偶ほか	3	写真貸与	3/24	募集媒体への掲載のため
118	㈱ Z 会	中居遺跡 壺形土器ほか	2	写真貸与	3/25	通信教育教材 中学受験コース 5 年社会 6 月に掲載するため
119	㈱ イースト	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	動画使用	3/25	NHK「縄文ミステリーサミット」において土偶に関する話の際に使用
120	散歩社	風張 1 遺跡 国宝 合掌土偶	1	写真貸与	3/29	書籍（紙および電子版）『世界の土偶（仮）』（響田亜紀子編）に掲載するため
121	サンセキュリティ㈱	いのるん	1	写真貸与	3/31	八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館受付等業務委託（名札）

令和 7 年度資料利用依頼一覧（4）

(2) 実物資料

令和 7 年度は合計 3 件の貸出を許可した。

No.	申請者名	資料名	貸出期間	利用先
1	八戸市博物館	中居遺跡 出土品ほか 計 46 点	R7.4.1 ~ R8.1.16	常設展示
2	東北放送(株) 東北歴史博物館	中居遺跡 出土品ほか 計 30 点	R7.6.30 ~ R7.9.15	特別展「世界遺産 縄文」
	京都文化博物館	中居遺跡 出土品ほか 計 17 点	R7.10.4 ~ R7.11.30	
	群馬県立歴史博物館		R8.1.17 ~ R8.3.8	
3	八戸市博物館	八戸城跡 土偶 計 4 点	R7.6.17 ~ R8.1.16	常設展示
4	三内丸山遺跡センター	八戸城跡 土偶形容器 1 点	R7.6.25 ~ R7.11.14	令和 7 年度夏季特別展 「縄文時代のおわり」

令和 7 年度実物資料貸出一覧

6. 資料収蔵

(1) 収蔵対象

是川縄文館では、八戸市内の遺跡から発掘調査等によって出土した遺物や、写真・図面等の調査記録、関連図書の収集・収蔵・保管を実施している。また、是川縄文の里整備事業において活用するため、漆器生産等に関連する民族・民俗資料も収蔵対象としている。

(2) 出土遺物等

出土遺物等については、平成元年度以降に八戸市教育委員会が実施した発掘調査によって出土した資料のほか、寄贈品等を収蔵している。収蔵施設には特別収蔵庫及び一般収蔵庫がある。特別収蔵庫には重要文化財、保存処理が完了した木製品・金属製品等の約 700 点を収蔵している。一般収蔵庫にはそのほかの土器、石器、土製品、石製品等が約 3,000 箱収蔵されている。収蔵庫内は資料を適切な状態で保管するため、常時温湿度管理を行っており、消火設備を備えている。資料は掲載されている調査報告書の図版ごとに平箱に収納している。

令和 7 年度は発掘調査で出土した遺物のうち、整理作業が終了した 390 点、11 箱を新たに収蔵した。

(3) 写真・図面等

写真・図面等の調査現場における記録のほか、整理作業の過程で作成された遺物実測図等は調査記録保管室で収蔵保管している。八戸市教育委員

会の発掘調査では、これまで記録保存の手段として 35mm フィルムの使用を必須としていたが、メーカーの製造数減少を受けて、今後の安定的な入手が困難と判断し、フルサイズ一眼レフデジタルカメラのみでの記録を行っている。

(4) 図書

図書については、61,230 冊を所蔵している。各地の地方自治体等が刊行している発掘調査報告書等の考古学・歴史学に関連する図書が大半を占める。蔵書の内 24,243 冊は故・江坂輝彌氏による寄贈図書である。江坂図書は学史上重要な文献から外国語文献に至るまで多岐にわたる資料を含んでおり、調査・研究に活用されている。図書は書庫・研究室に収蔵されているほか、一部は閲覧コーナーにおいて一般開放している。

令和 7 年度は 675 冊（うち寄贈 615 冊、購入 60 冊）を新たに追加した。

(5) データベース

是川縄文館データベースは、遺跡・図書・収蔵資料に関するデータをクラウド型データベースに格納した。現在、遺跡 491 件、図書 61,230 件、資料 47,720 件など全 109,778 件の情報を格納して運用している。

7. 予算概要

予算内容		予算額 (円)
運営経費		133,119,000
《内訳》	施設維持管理経費	102,871,000
	一般管理事務経費	30,248,000
特別展・体験事業等開催事業費		30,000,000
《内訳》	特別展経費	12,588,000
	企画展経費	6,877,000
	共同研究経費	334,000
	教育普及経費	1,095,000
	資料調査経費	364,000
	その他	8,742,000
是川縄文の里整備事業費		91,663,000
世界遺産登録 PR 事業		3,833,000
発掘調査事業費		83,600,000
《内訳》	八戸市内遺跡発掘調査事業費	79,100,000
	文化財調査管理事務経費	4,500,000
埋蔵文化財保存活用費		20,001,000
《内訳》	埋蔵文化財活用活性化事業費	13,111,220
	是川遺跡出土品保存修理事業費	6,889,780
合 計		362,216,000

※補正予算の記載がない額は当初予算額を示す。職員人件費は含まない。

8. 施設の維持管理

(1) 施設修繕

是川縄文館個別施設計画に基づく修繕のほか、緊急対応の修繕として、空調設備や非常照明設備等 16 件を実施した。

(2) 地震被害への対応

令和 7 年 12 月 8 日に発生した地震（八戸市：震度 6 強）によって常設展示室等の壁面に亀裂が生じた。令和 8 年度に修繕を実施する予定である。

(3) 照明 LED 化工事

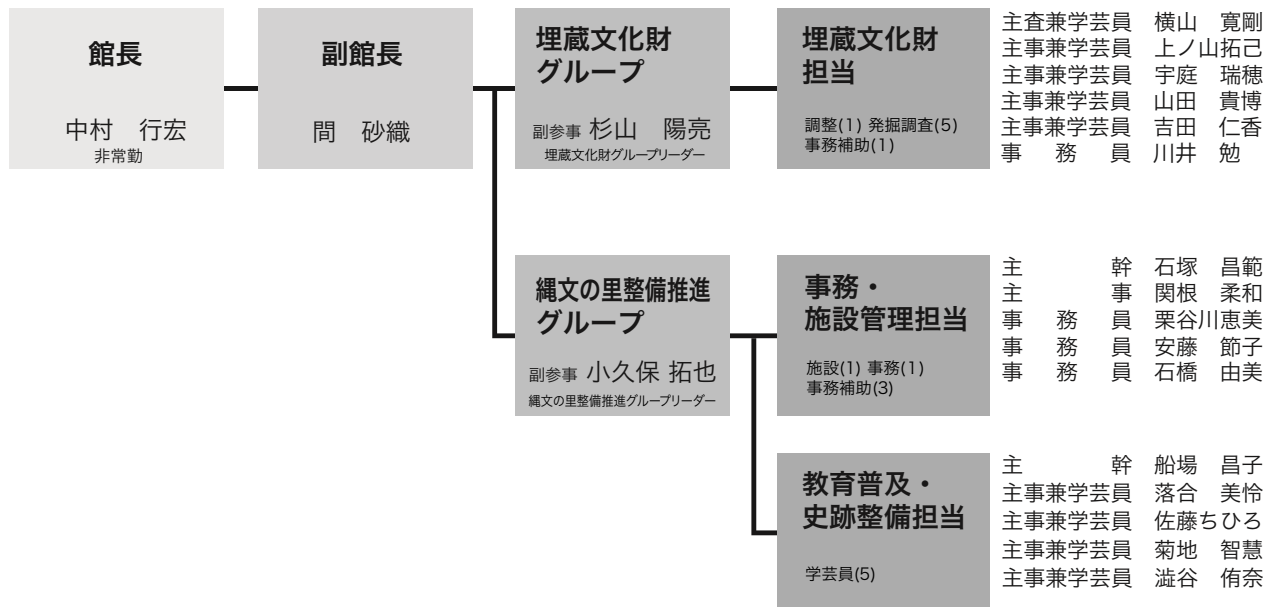
令和 7 年度は、以下の照明設備を L E D に変更した。

1 階：トイレ・ロッカー・警備室・職員玄関・通路 ほか

2 階：図書閲覧コーナー・展示ホワイエ・階段・通路 ほか

VII 組織・関係団体

1. 組織及び職員構成



2. 八戸縄文保存協会

【設立年】平成 7 年 【会員数】131 名（法人会員含む）

【目的・活動】

縄文文化の重要性を認識し、縄文遺跡及びその出土品の保存に協力するとともに、その活用を図り、もって地域文化・経済の振興に寄与することを目的に発足。当協会では、目的を達成するために次の事業を行う。

- ①縄文文化についての研修
- ②是川縄文館に関連する事業への協力
- ③縄文是川ボランティアへの支援
- ④縄文遺跡及びその出土品等の宣伝紹介
- ⑤文化財保護思想の啓蒙等

さらに、是川縄文館内でミュージアムショップ・喫茶コーナー「これカフェ」を運営し、来館者の利便性の向上を図っている。

このほか、8月には「第 27 回これかわ縄文まつり」を開催し、弓矢体験や縄文土器作り、火起こし等の縄文体験、縄文の里を歩こう会といったイベントと各種ステージの企画・実施を通じ、縄文遺跡の魅力について広く普及啓発を図っているほか、地域の活性化に寄与している。

7月から9月にかけては「第十回是川縄文の里俳句大会」を開催した。俳句大会では学生の部と一般の部あわせて 951 作品の応募があり、その中から優秀な作品を選考し、縄文館内で表彰を行った。2月には「えんぶり鑑賞会」を実施し、妻神えんぶり組に出演いただき、304 名が観覧した。



俳句大会表彰式

利 用 案 内

○開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

○観覧料

区 分	個 人	団 体
一般	250 円	130 円
大学生・高校生	150 円	80 円
中学生以下	無料	

※市内 65 歳以上、障がい者手帳等をお持ちの方と同伴者 1 名は半額。特別展は料金が変わります。

○休館日 毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は開館）
祝日・振替休日の翌日（土・日曜日、祝日の場合は翌日）
年末年始（12 月 27 日～1 月 4 日）
※上記以外の臨時開館・臨時休館があります。

○交 通 バス：J R 八戸駅東口バスターミナル 4（土日祝日） 約 25 分
J R 本八戸駅・中心街バスターミナル 3（中央通） 約 30 分
自動車：八戸自動車道・八戸 I C から約 10 分、
八戸久慈自動車道・八戸是川 IC から約 5 分
タクシー：JR 八戸駅東口より約 15 分

○駐車場 普通車 86 台 大型バス 6 台 障がい者用 3 台

○所在地 青森県八戸市大字是川字横山 1 TEL：0178-38-9511 FAX：0178-96-5392

○ホームページ <https://www.korekawa-jomon.jp/>

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

年 報

第 15 号 -令和 7 年度-

発 行 日	2026 年 7 月 10 日
編集・発行	八戸市教育委員会 八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 〒 031-0023 青森県八戸市大字是川字横山 1 TEL 0178 (38) 9511 FAX 0178 (96) 5392
印 刷	有限会社 協同印刷 〒 039-1101 八戸市尻内町字尻内河原 49-1 TEL 0178 (27) 4134 FAX 0178 (27) 3263